（一）號八十九百千四第　THE KEIJO NIPPO　（可認物便郵種三第日十月八年九十三治明）　日七月六年八正大　（刊休日翌の日祭大及日曜日）刊休無中年　版

京城日報

六月六日夕刊（朝刊併せて八頁）

本紙定價　一箇月七十五錢　廣告料　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社　發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介　電話 [illegible]

時間表 [illegible]

◇獨外務調印拒絶　ランツアウ伯の傳言

伯林よりの報道に依れば獨逸外務省は絶對に講和條約に調印することを拒絶せり獨逸講和委員長ランツアウ伯はヴェルサイユに於て將に獨逸に向つて出發せんとする獨逸委員數名に對し告げて曰く『豫備講和條約にして重要なる點に就き變更を加へらるゝに非ざれば余は決して之れに調印せざることを伯林人士に傳へよ』と尚ほ獨逸の對案中に明記する所に依れば獨逸は若し聯合國が相當の條件にて國際聯盟に加入することを許さば獨逸軍隊を廢棄することに同意すべしと（倫敦電報）

◇オ政府承認準備　日本は鐵道及漁業契約繼續主張

英佛日三國にてはオムスク政府承認準備成れるが英國は若干の權利讓與、佛國は露國債引受、日本は舊露帝國政府と締結したる鐵道權利及び漁業契約を繼續すべきことを主張しつゝあり（倫敦電報）

◇ラヴィ革命と注目

墨西哥前大統領ヴィラ將軍が蹶起して革命を起したるは著しく注目を惹きつゝあり墨西哥よりの諸電報はヴィラ將軍の兵と前大統領デアズ氏の兵とが完全に聯合したりと斷言せり米國々務省は大統領カランザの兵がチホアホアに於てヴィラの兵を攻撃する爲めテキサス州を通過せんことを請ひしも拒絶せられたる爲めカランザ州は大いに憤慨失望せり（華盛頓電報）

◇新借款協約要點

對支新借款準備協約成立せるが要點は（一）現在及び將來の一切の特權取引は既に實施されたるもの若しくは現に實施されつゝあるものを除き其他は悉く新借款中に繰入るべきものとす（二）外國借款團は支那財政に關與せる其國の銀行全體に亘り廣く之を代表すべきものとす（三）建設事業は公平なる競爭的基礎に立脚して行はるべし、右借款組合首唱者は利益の獨占を避け支那に對し寛大にして公平無私なる財政上の援助を與へんとする希望を披瀝したり（巴里電報）

◇大會社設立計畫　米國品購入貿易促進の爲め

米國上院議員の盡援により米國品購入貿易增進を目的として米國市場に於て外國證券の融通を容易ならしむるため政府並に銀行業者出資し十億弗の大會社設立計畫の提案あるも大藏省及び準備局は未だ之に賛成せず（紐育電報）

◇露國公債善後策

モルガン商會並にナショナルシチーバンク關係者は六月十九日を期限とせる六分五厘半利附露國公債五千萬弗の善後策に就き協議中なるも未だ何等の決定を見ず（紐育電報）

◇紐育金融市場閑散

紐育の金融市場は概して鈍狀にて社債發行漸次增加の傾向あるも定期資金及び商業手形とも新規のものなく引續き閑散優良引受手形多少あるも利率居据りなり株式は活況を呈し居れり（紐育電報）

◇英蘭藏券發行中止

六月一日英蘭銀行は大藏省證券の發行を中止せる旨發表せり（倫敦電報）

◇兌換券九億圓

日本銀行の帳尻は六月四日に於て兌換券の發行高九億二千一百萬圓に達せり物價暴騰の結果通貨は漸次膨脹しつゝあり（東京特電）

◇門司港修築起工

門司港修築起工式は五日午前十時より門司稅關埋立地に於て擧行さる先づ高瀨齋主の祝詞大神祭主の祭文あり次いで堀田內務大臣代理祝辭を朗讀し終つて小森江海岸に沈石式を終了したる後祝賀會を催したるが當日の來賓は內務大臣代理堀田土木局長、安達下關土木出張所長、安河內福岡縣知事、中川山口縣知事、白水第十二師團留守隊司令官、松浦下關要塞司令官、高崎門司市長、不破下關市長其他一千餘名に達し盛儀を極めたり（下關電話）

◇井口大將動靜

滿洲巡視中なりし軍事參議官井口大將は五日夜有志の催せる歡迎會に臨み同九時五分奉天發北方視察の途に就きたるが十日午後四時二十五分奉天通過撫順を通過し十一日午後五時十分再び來奉十二日午前九時奉天發安奉線經由朝鮮に向ふ豫定なり（奉天特電）

◇立花中將巡視

安東方面巡視中なりし立花軍司令官は五日午後六時三十五分來奉有志の歡迎會に臨み六七の兩日各方面を歷訪し同時に奉天諸部隊を巡視し八日午前八時奉天發北行十三日午前九時奉天を通過し遼陽に赴く豫定なり（奉天特電）

◇ハイヤー支配人

露亞銀行西伯利總支配人ハイヤー氏は五日午後十時奉天發安奉線列車にて移乘朝鮮經由東京に向へり（奉天特電）

◎對敵財產管理令　閣議にて決定

政府は三日の閣議に對敵財產管理令を附議し之れが公布に關する諸般の事項を決定したるを以て御裁可あり次第發布實施を見るべし右

▲財產管理令 は對敵講和條件の賠償事項に關聯し敵國就中獨逸の如きは到底正金を以て賠償の義務に應ずる能力なければ之が遂行の一部分となすべく聯合國に於ける獨逸の官有及私有財產を總て聯合側當該國に於て沒收せんとするものにて既に英佛米伊等の諸大國を始め支那其他聯合側小國に至る迄何れも之を實行するに至り巴里四大國代表者よりも帝國に對し之れが實行方に付き慫慂し來りたるを以て政府にては夙に條約改正準備委員會の調査を經之れが成案を法制局に回附し爾來同局に於て馬場第二部長主任の下に審查を開始し外務內務陸海軍を始め大藏司法農商務の關係各省及內閣拓殖局の當該主管高等官連日鳩首審議を重ねたる結果此程漸く完了を告げたるに依り愈々三日の閣議に附し勅令案として御裁可を奏請することゝなりたる次第なり

▲該案の內容 は帝國の領土若くは占領地內に於ける獨逸使節の建物等は勿論個人の私有財產を沒收處分し後日決定すべき賠償の一部に加算せんとするものなるが假令敵國人のものと雖も其私有財產迄も沒收するは從來の國際慣例を根本より覆へすものなるべしとて條約改正準備委員會にても愼重に考究されつゝありし程なれば提出迄にても斯の如き重大なる法令に對しては樞密院官制の規定に依り御裁可に先だち同院に御諮詢相成る由にて或は特別委員に附託さるゝに至るやとも測られざるべきが政府としては成るべく

▲緊急に公布 したき希望なれば多分は之が爲め樞府臨時本會議の召集を見るに至るべく殊に在留獨逸人にして其官私有財產の當該敵國に沒收さるべきを豫期し昨今之れが讓り渡しを當該官廳に願ひ出づるもの續々たる有樣なれば政府は御裁可を經次第號外を以て公布する豫定なりと因に三日橫田法制局長官川村警保局長及び[illegible]が閣議半ばより引續き長時間首相官邸にて原首相と協議せるは本件に關する者也と（東京）

◎鮮銀の鮮米金融　緊縮說の實否如何＝政府の政策と鮮銀の態度

政府は鮮米の價格を低落せしめ延いて內地米價の緩和を圖らんため朝鮮銀行の米穀金融を緊縮せしむるに至らんとの東京電報あり去三月の米價暴騰時代鮮銀の鮮米金融緊縮は三月大崩落の端を啓きし例あり旁這回も此の手によつて

▲米價の崩れ を目論まんとする意向を政府に於て有するにも非ずや又それらの說は確實方面にも一說として傳へられ來れるが唯六日午前まで朝鮮銀行には政府筋より何等さる意味の通達來り居らず銀行自身としては此際特に買煽りによる鮮米暴騰と云ふ如き事情認め難く去る二月頃の鮮米價格と現在の鮮米とは事情大いに異なり居れるため特に金融を緊縮して米價の低落を圖るなどの必要を認め居らずと當局は語り居れり然し乍ら若し東電の如く政府に於て鮮米を軟調ならしめ而して內地米價の低落を圖り

▲貯米筋の手放し を行はしむる政策を執るものとせば鮮銀に於ていつその米穀貸出しの緊縮措置を價の切り下げ等を實行する如きを得ざるや計り難し唯其効果を必ず現はれ來るべきも然も馬鹿を見るは米商のみなるべし何となれば田舍の地主連の貯穀者は銀行の金融を受け居れる如きものは少く假令受け居れりとするもソハ極めて內輪の融通に過ぎざればなり寧ろ此金融を遲延せしめ鮮米の軟調を期するとせば結局出廻りを減ずるにあらずやと某有力者は語れり尙ほ現在の米穀金融は各銀行を通じ約一千萬圓內外にして之れを二月頃に比れば半額に過ぎずと

◎勞働會議の內容（五）

四月三日在巴里　本社特約員　上田碩三

此の議論に對し英、白及び其他の委員は曰く、勞働會議は單に決議を通過せしむるだけが能ではなくて條約の草案を制定し而して各國政府をして之を其の立法機關に呈示して之が實行を圖ることを主眼とする從つて當該政府をして少くとも同一發言權を有せしむることは極めて必要である若し然らざる場合は折角勞働會議が三分の二の多數を以て通過せる議案も屢々其の實行に當りて其の國の立法當局のために否決せられ、結局會議の議事は何等の實効を收めず勞働會議の勢力及び權威は遠からずに亡び行く懼れがある、一方世界の趨勢を觀るに殊に今後に於ては政府は勞働者に反對するよりも恐らく之に贊成する場合が多いと信ぜられる果して然らば政府に二票を與へて以て勞働者側の援助たらしむるあらば之れ常に勞働者側をして資本家に對し三分の二以上の多數を得せしむる所以であると。但し米佛委員の意見は右の如きは事實上到底不可能で一朝雇主側が政府と一體となつて勞働者に當らば到底、勞働者側の多數は得られないと云ふにあつた。而して結局委員會は票決の結果僅の差を以て政府代表二名說の勝利となつた。

◎尙ほ本項に關し伊太利の委員は佛國委員の贊成を以て右勞働會議に對する議員中、農業代表者をも加へんことを主張したが既に政府代表を二名と決すれば農業の代表は容易に此の內に包含せられ得べく且つ各部門につき專門の顧問を任命すべく、伊太利の主張は結局或る程度まで第三條の規定に包括せられ居るものと解釋せられた。

◎第六條乃至第十三條は國際勞働の永久機關の一たる國際勞働局に關する規定である、即ち該局は國際聯盟本部の所在地に之れを置きて同本部の行政機關の一部として二十四名の管理委員を以て之れが事務を管掌する、管理委員の任命は第七條に附隨する議定書により政府、雇主及び勞働者の各代表者を以て之れを組織する、即ち十二名は政府に依り又殘りの六名は同じく本會議に出席せる勞働者代表者により指定せらるゝことゝなつて居る。

◎對敵取引禁止府令改正

六月七日附總督府令第百四號を以て對敵取引禁止令施行に關する府令中改正の件發布即日施行さるべし

◎森林鐵道と工業會社　＝事業開始期＝　發起人 津田鍛雄氏談

朝鮮事業界に於て注目の焦點となれる資本金各一千萬圓の朝鮮森林鐵道並に朝鮮工業會社は來る九日發起人代表者大川平三郎氏の來城を待ち

▲局面の轉換 を見る如き形勢なるが右事業に就き朝鮮側發起人津田鍛雄氏は曰く咸南咸興より長津を經て鴨綠江岸に到達する朝鮮森林鐵道とパルプ製材を行ふ朝鮮工業會社とは密接不可分のものに付之を合同して資本金二千萬圓の計畫となさば如何との說も出でしが目下の處各種の都合上併合せざる方針なり又兩社の事業開始期に就て來鮮中の大川氏は今後四五年を要するやに語りしやう新聞に現はれゐたるがソハ氏が計畫の完成期豫言をなしたるを誤報されしものならん事實森林鐵道も朝鮮工業も會社

▲設立の許可 を得次第直ちに設計に取り掛り而して工事を開始し急速計畫の進程を企圖すべく少くも著手後一年內外の日子を經ば鐵道の運轉は素より工業會社の製紙作業も之れを開始し得べき目算なり又朝鮮工業の工場は會社の許可後決定を見る譯なるが多分咸興附近に之れを求むべく本社は成興に之れを置くこと〻なるべき乎尙ほ予の如きは微力にして唯發起人の席末を汚し居れるに過ぎざるも該事業の

▲發起人 は錚々たる實業家の顏揃ひにて殊に近く來城する代表者大川平三郎氏は富士製紙の社長並にその他數十の會社に關係し本邦製紙界に於て氏の支配せる會社の製紙能力は六割を占むる現狀にあり幸ひに會社設立の許可を得氏等の主唱により內地の巨資を移入し北鮮天興の大資源を開發し得るに至らば朝鮮產業界のために寄與する所少からざらん

◎定例長官會議

總督府定例長官會議は六日午前十時より第一會議室に於て定例長官會議開催、長谷川總督山縣政務總監以下各部長官出席せり

◎通信收入概況

八年度四月分通信事業收入は六十四萬六千五百十四圓にして豫算に比し十四萬七千百九十六圓（二割）を超過し前年度同月分の收入に比すれば十一萬七千七百四十一圓（二割二分）を增收せり

◎電報緩和せん　佐連線修理著手

不通中なる佐世保大連間海底電信線は長崎に碇泊しゐたる遞信省修理船四日陸地點に急行したる由にて五日より多分修理に著手せしなるべく旁其の復舊は近からんと

▲電報緩和せん 右佐世保大連線不通のため東京京城二番線を滿洲に接續し滿洲內地間の電信專用に供しつゝあり更に電報の輻輳も加はりために朝鮮內地間の電報並に朝鮮內の電報は著しく遲延しつゝあり佐連線の修理出來ると共に漸次復舊すべしと

◎辭令（六月四日附）

朝鮮總督府道技師　青木戒三　朝鮮國勢調查評議會評議員を命じ中央試驗所職員發明審查委員を免ず

朝鮮總督府事務官　生田淸三郎　中央試驗所職員發明審查委員を命ず

同　田中卯三　關稅調查會委員を命じ古蹟調查委員を免ず

同　上本岡榮次郎　古蹟調查委員を命ず

◎五月鐵道成績

五月中に於ける朝鮮線の運輸成績は乘車人員九十萬人、貨物噸數は卅一萬五千噸、客車收入七十二萬三千圓貨物收入七十九萬二千圓運輸收入一百五十二萬五千八百圓にして前年度に比し人員に三割數量に四割五分收入に三割を增加し一日一哩平均收入は四十四圓卅九錢にして九圓八十四錢の增收に當れり

◎慶北在米高

昨年慶北の產米は實收二百二十三萬六千四百十餘石なりしが同道一箇年の消費高百八十萬石を控除するも四十三萬石餘の剩餘米あり既に大部分を道外に搬出せしと雖も尙ほ地方農家に貯米乏しからず即ち、昨五月中に搬出されたるもの四萬五百石あり本月より來る十月端境期迄月一萬石の搬出を見るこ豫定するも現在に於て少くも五萬石の貯米ありと見て大差なからんと

◎鮮銀發行稅

朝鮮銀行券は昨年來引續き限外發行を爲しつゝあるが右限外發行に伴ふ發行稅は本年に入り五月末日迄に既に三十萬圓に達せりと

◎貿易會社認可

新義州貿易株式會社設立の件は豫て多田榮吉、張世國、朴在龍、李丙河、鄭文赫、金宗源、車洙榮、張永俊の八氏より出願中の所六月四日附許可の指令ありたり同社は本店を新義州府に置き、資本金五十萬圓を以て米穀貿易精米委託賣買の業務を營むものなりと

◎檢疫所祝賀會

釜山移出牛檢疫所に於ては明治四十二年創立以來十周年に相當するを以て六日官民合同にて祝賀會を開催せしが總督府よりは農商工部長官代理として野口技師出席の爲出張せり

◎淨法寺中將南行

淨法寺師團長は幕僚を從へ分派部隊の狀況視察の爲め六日朝七時五十分發列車にて鳥致院に向へり

◎武藤少將通過

參謀本部附陸軍少將武藤信義氏は六日朝釜山上陸十時急行にて龍山に向へり（釜山特電）

◎桑田侍從武官

第十九師團幹部演習視察中の桑田侍從武官は廿日再び來城二十一日京城を視察し廿二日朝發歸東すべしと

◎宮舘警視歸朝期

米國視察中なりし警務總監部會計課長宮舘警視は七日橫濱著歸朝の旨本所に通報ありたりと

◎香川縣視察團

朝鮮貿易株式會社主催に係る香川縣朝鮮視察團一行約卅名は團長和田恐氏（香川縣廳林課長技師）副團長石井朝太郎氏（三豐實科高等女學校長）等引率の下に去る三日高松出發五日午前九時釜山著目下木浦方面視察中なるが十二日頃來城すべく釜山上陸後一行の日程左の如し

五日朝釜山上陸大邱一泊▲六日大田著一泊▲七日同發木浦一泊▲八日海南一泊▲九日十日木浦滯在▲十一日大田視察▲十二日永登浦觀察後午後四時十六分南大門着入城▲十三、四、五滯城▲十六日開城視察釜山へ直行▲十八日朝釜山より乘船歸鄕

◎村田氏送別會

京仁官民有志の發起に係る前總督府鐵務課長村田案一郎氏送別會は五日午後七時より朝鮮ホテルに於て開催八時食堂を開き國分司法部長官一同を代表して送別の辭を述べ村田氏の謝辭あり九時半閉會せしが來會する者百六十名に達し頗る盛會なりき

◎大川氏張宴

朝鮮工業並に朝鮮森林鐵道の發起人代表者內地製紙界の巨頭大川平三郎氏は九日朝入城同夜千代本に京城並に地方新聞の代表者を招宴十日午後七時より朝鮮ホテルに山縣政務總監以下各部長官局長課長並に民間有力者約二百名を招待張宴すと

人事消息

▲岡田時次郎氏（鐵道協會々員）六日朝釜山上陸十時急行にて北行（釜山特電）

▲山縣五十雄氏（セウル、プレス社長）同上

▲富田儀作氏（鎭南浦實業家）同上

▲馬場籟藏氏（鎭南浦商業會議所會頭）六日朝入城龍山へ

▲谷垣嘉市氏（群山商業會議所會頭）同上

▲本田幸介氏（水原勸業模範場長）六日朝入城巴城館へ

▲大池忠助氏（釜山實業家）同上

▲石川鐵平氏（憲兵中佐）六日來城

▲中村與資平氏（鮮銀囑託）七日釜山より歸城

▲西崎鶴太郎氏（鎭南浦實業家）同上

八面鋒

◆對獨講和條約は討議を許さず、提案の許可となり、遂には交戰國双方が絕對秘密を嚴守せる講和條約の全文を、獨逸は約を破つて紙上に公表したりとて、愈々益々紛糾を招來せんとす、今試みに講和會議の經過を顧みよ、獨逸の[illegible]に關する情報、[illegible]化、[illegible]拒絕と傳へ、[illegible]讓步こ、[illegible]は[illegible]にして捕捉すべからざるものあり、之を當世聲明なる外交の秘術こやいはん哉。

◆吾人之れに對して、[illegible]デシノーを思はずんばあらず。日露戰爭の最中、上海に在つて露國の爲に其の實虛偽なる一時的有利の情報を全世界に散布し、露國主要軍艦の擊沈を日本軍艦擊沈と僞報し、流行のロイテルさへも一杯喰はされたるも、日本は[illegible]デシノーありて、聯合側を攪亂しつゝあるに非ずや。獨逸は聯合側の牢乎たる決意に對して、頻りに紛糾の惹起を誘發せんと努力しつゝあるもの、如し戰爭に狡猾なりし獨逸は今日に於ても更に狡猾也。

◆英國の西藏問題は、公使ジョルダンが近く引退の置土產として突如提起し來れりとなす者あり、然れども吾人は未だ確く考ふる能はざる也、何となれば阿富汗に伸びたる英人の巨手は、何時しか土耳其斯坦に達せり、多年の懸案たる西藏問題が今日現出し來る、豈に敢て突如に非ざる也、更に新疆より、天然の寶庫四川に向つて一步を進むる處あるべきは、決して一個の臆說なりとのみ聞き捨てになす能はざるべし。

◆若し夫れ西藏問題を突如となすも吾人は敢て驚かず、決して奇怪となす者にも非ざる也、何となれば近時歐米人の性格は[illegible]に化し來れるを見る、突如として山東問題を起し、突如として一借款團を提唱し、突如として「トルゴー」「カメロン」を分割し、突如として土耳古小亞細亞を領有し、突如として非賠償主義を改めたるが如き、觀じ來れば世界は突如主義に改造せられたるもの、如し、從つて第二第三と突如は更に頻々として發生する無しとせざる也、突如は最早突如に非ざるを考へざるべからず。

軍隊鐵道拂下品　其他諸官衙拂下品一式

新古夏服　新古和服　事務服　工場服　夏物　作業品　安品　種々　其他

右多少に不拘御用命被下度願上候

和洋衣服商　金子奧市商店

京城府龍山元町二丁目　電話龍山長壹〇五番　振替口座三八一三番

六月號新荷著（目錄贈呈）

京城本町二丁目廿九番地　日本蓄音器商會　電話壹貳八參番　振替京城六八四番

輕くて涼しい　夏の洋服は

詰襟上下　[illegible]

背廣三揃　[illegible]

替チヨツキ　甲 乙 丙 [illegible]

見本及寸法取圖解書御申越次第送呈

京城本町通り　京城日報社代理部　振替京城三〇番

優等清酒

福岡縣三井郡山川村　釀造元　富安本店

京城永樂町二丁目　發賣元　富安支店　電話四一〇三九　振替口座四三九九

桝賣御斷り

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千四百六拾萬圓
總預金　參億參千萬圓

株式會社第一銀行京城支店

京城本町二丁目　振替貯金京城一一〇一番　電話二三一一・一一六一・一一七番

頭取　佐々木勇之助　支配人　竹村利三郎

◀關內土地に出發芽試驗濟日々送種致居候▶

最特選純粹魯桑種　一合 六十五錢　一升 五圓八十錢

上等魯桑種子　一合 五十五錢　一升 四圓八十錢

普通桑最特選種子　一合 五十錢　一升 四圓三十錢

普通桑上等種子　一合 四十錢　一升 三圓二十錢

朝鮮興農園　電話長二七二　振替京城七三

貸船　漁獵　漢江遊船倶樂部　京城府龍山元町四丁目河岸　電話一〇番

◇將に干戈を交へんとする兩軍選手◇

『右』京城軍 前列右より 湯原(二) ● 小坂部(捕) ● 松浦(投) ● 佐々木(一) ● 奥(右) ● 野村(左) 後列右より 宮林(補) 勝木(中) 田邊(監督) ● 松村(三) ● 倉田(遊)
『左』釜山軍 右より 吉原兄(遊) ● 渡邊(右) ● 宮脇(二) ● 林(左) ● 扇坂(中) 西村(監督) ● 林(投) ● 大谷 ● 木原(三) ● 生(一) 谷口(投) ● 丸(遊) 吉原弟(捕)

◎骨鳴り肉躍る 對抗野球戰

釜山軍對全京城軍 戰機は迫る、好球兒は來れ

試合にも觀覽にも好い 龍山新練兵場

本社主催の京龍野球戰は愈々八日正午より新龍山總督官邸東方の新練兵場で開催される事になつた、場所は本社に於て參考研究の結果總督官邸東方の新練兵場中央の獨立樹附近に競技場を新設する事に決した何しろ廣漠數萬坪の練兵場の事であるから狹隘な鐵道公園や其他とは比較にならない殆んど理想的と云つても善い三方は新龍山の丘地新緑に包まれ南は京元線を距て、青々した漢江に面してゐるから試合にも觀覽にも非常に適當である電車の新龍山終點から約十町の距離で左程に遠くない追つて競技場に關しては圖解を以て詳說する事にしよう

京城軍陣容整ふ 投手は松浦、捕手は小坂部 ▲意氣既に敵を呑む

京城軍の陣容に就ては京城俱樂部田邊監督と朝鮮銀行大野監督と協議の結果、兩軍の精鋭を集めて編成する事となつた、五日東協軍との練習試合は來るべき大試合の小手調べであつて小阪部湯原が捕手をやつたり各シイトに選手を更へたりして最善のチーム組織に腐心した其結果投手は松浦で捕手は小阪部、湯原は二壘に一壘が佐々木遊撃が倉田、三壘が松村、勝木が中堅で野村の右翼、奥の左翼と云ふ事に大體決定し野村主將が全軍を統率して神算奇策を廻らす事になつた、野村松村の快打、倉田勝木の輕快は必ず當日の覇者たり得るであらう 五日夜本社來青閣に選手茶話會を催したが各選手は實に猛烈な意氣込で鎧袖一觸遠征軍を撃破せんとの決意を眉宇の間に示して居た、湯原二壘手は緊張した顏付で『ナーニ打つて〳〵打ち捲くつてやりますよ』と云ふ田邊氏は温顏に笑を浮かべて多くを語らないが勝算堅いもの、ようであつた、各選手とも意氣軒昂期せずして萬歲を叫び卓を叩いて必勝を誓つた。

京城軍練習 六日午後新練兵場にて

龍山鐵道軍を屠つた釜山軍は戰勝の勢を拂ふの暇もなく猛練習を續けつゝあるが京城軍も六日午後四時半(晴天なれば)出場選手總員本社に勢揃ひした上龍山新練兵場グラウンドに於て猛烈なる練習を試みる筈である

釜山軍は八日朝 數百の應援團と共に入城

釜山軍は選手中に學生があり遠征決定には色々の支障も有つたやうではあるが野球協會の坂田氏西村監督木原主將其他各關係者各位の厚誼により四日の夜遠征を快諾する事になつたのである釜山軍は初七日京城に入り一泊鋭氣を養つて戰ふ豫定であつたが其後八日朝京城著の急行寢臺車で入城し午前中休養して正午より干戈を交へる事に變更された尚釜山野球團の京城遠征の壯圖は釜山全市を震撼し百名に近い好球兒は應援團として選手と共に入城し大々的に聲援する事になつたと云ふから愈々當日は或は數百の應援團が旗鼓堂々と入城するかも知れない釜山軍の陣容は朝刊所報の如く新進氣鋭の若猛者揃ひ鐵道軍を擊破した以上の大捷を期してゐると云ふ兎に角八日の野球戰は全鮮の爭覇戰であり半島野球史上に特筆大書せらるべき絶好の大試合で滿都の好球兒否全鮮の運動子が血を沸き立たせるに違ひない、

◎太身の軍刀に遠征氣分を見せて 見習士官 西伯利へ向ふ 戰地で少尉になる

去月廿八日士官學校を卒業した見習士官の中西伯利出征中の第三師團管下に所屬すべき廿四名は五日朝入港の關釜聯絡船高麗丸にて釜山に上陸同夜京城通過西伯利亞に向つた何れも廿二三歲の青年で肩章の星こそ曹長級だが腰に佩びた太身の軍刀を黒革で鞘を捲き肩より◇十文字に 水筒と拳銃を襷に綾取り腰には茶褐の鞄を吊り下げ歩く度毎に響を叩かせ背には背嚢を負つた姿に凛とした天晴將校振りを見せ多年習ひ覺えた戰術を敵前に應用せんとする遠征途上の氣分が眉宇の間に漲り張してゐる今でこそ西伯利は靜穩だが良民の顏をしてゐても何時銃を執つて逆襲するか知れぬ過激派の事だから戰線に向ふと異ならず他の同窓生が所屬隊に歸るのとは違ひ ◇征途初陣 であるだけ此一行は得意に勇み立てる輸送指揮官砲兵中佐青木正章氏は語る『一行二十四名の見習士官は西伯利に入つてから各地に配置してある其の所屬隊に屬し今年十二月には西伯利曠野で少尉に任官され肩章の星が變つて押しも押されもせぬ立派な將校になりませう』

◎小倉師團の一部凱旋 歡呼沸くが如し

第十二師團第一野戰病院騎兵第十二聯隊野砲兵第十二聯隊步兵第二十四、十四、四十七聯隊の各一部は本山步兵大尉引率將校十六名下士四百七十名馬匹六十頭は豫定より一日繰上げ五日午前八時御用船東郷丸にて門司に凱旋新衣町棧橋より上陸北方及び福岡に向ひたるが上陸地點及び沿道は歡迎者を以て充たされたり(下關電報)

◎リード中佐は斷して 横斷飛行に成功 止むを得ず河上に下降す リスボン出發後機關に故障を生じ

リード中佐の操縦せる米國海軍飛行機エヌ、シー第四號は三十一日午後二時二十六分英國プリマスに到着し茲に大西洋横斷飛行を完成したり之より先同機が葡萄牙首府リスボンを發したるは三十日早朝にして三十一日午前六時西班牙のセロールを發し飛行の途中機關に故障を生じリスボンより百哩の處にて河上に下降するの餘儀なかりしも幸ひ機體に故障無かりし爲め再び飛行を續けて竟に大成功を爲せるものなり(紐育電報)

◎海賊船 支那朝鮮沿海を荒す

去る五月十三日午後十一時頃王永魁外三名の支那人が豆粕積込のため大連港北大山通り海岸に百石積戎克を繫船中四名の支那海賊現はれ來り ◇短銃を突付 け、船夫を脅迫しつゝ船內を隈なく探せしも何等獲る物なきより恐がる船夫をして無理矢理に船を出さしめ、猶ほ同船は賊を乘せて金州、貔子窩、安東縣等の間を横行し居たるが此の間に同十九日午後二時頃大連港を距る南方百支里の所にて木材を積載せる戎克に衝突して ◇停船を命じ 強奪を働かんとしたるが、折しも後方より運船らしきもの來りしより目的を果さず芝罘方面に逃走せり、又同二十三日は鎭南浦沖合に支那戎克を襲ひて金品を掠奪し、續いて二十八日午後二時頃、貔子窩內、廣鹿島を距る西南七十五里の箇所にて、折柄出漁中なる約三十石積の ◇漁船に移乘 せるが、王等船夫に向ひては、命は助けやるから此の事を官憲に告ぐるなと威命して、大連港方面に向ひたり右の報三十一日に至り始めて官憲の知る處となり、因に賊等は何れも年齡四十前後位にて、言葉に金州訛あり(大連)

◎美人大金を窃取す 兄と共謀して 然も被害者の愛妾

去る二日午前三時頃龍浦米穀商棟据商店に何者か忍び入り主人寢室の枕元にありし現金六千圓入の手提金庫を窃取し主人が眼を覺して ◇短銃を探 す內に逃走したる事件あり所轄東萊署は小梁川署長以下活動中なりしが其結果犯人は意外にも同商店主人の妾おこう(二三)の所爲なること判明し三日東萊署の手に逮捕されたり棟据店主人は山口縣都濃郡の者にて妻子は ◇故郷に殘 しあり獨り者にて前記おこうを妾として家に引入れおこうの兄山根久米一(三〇)をも雇入として使用し居たるが兄妹共謀して二日の夜主人に酒を勸め夜更けて寢に就きたる際に乘じおこうが金庫を盗み出し兄妹して早くも金庫を破壞し現金を奪取して投棄し何喰はぬ顏して家に居りたるを流石に其筋にて怪しと ◇目星を付 け兄妹を嚴重に取調べたるに包み切れず自白したるものにて六千圓は妾おこうの衣類の中より現はれたりといふ尚嚴重取調中なり(釜山)

◎岡山の遊興稅 來年から實施

岡山市にては今回遊興稅を賦課することに決定したるが賦課開始は實施等の都合上明年度より實施せらるゝことゝなるべし(岡山電報)

◎二日掛の大碁戰 中村三段と紀本氏の對局

方圓社派某客三段中村善一郎氏は過日入城明治町圍碁仙友會に於て四日夜十二時より仙友會主三段格紀本龍太郎氏と對局し五十手にして同夜は打切りとし翌五日正午十二時より再び對局し午後六時頃に局を結びたるが京城近來の碁界に光彩を添ふべき兩氏對局の跡は追つて本紙上に表すべし

◎八道溝馬賊の首魁 人質の中には女學生もある

去る二十九日鴨緑江上流長白縣八道溝へ約三百名より成る馬賊の一團襲來したる事は既報の如くなるが馬賊の其首魁は蘇山、天下樂にして拉致となりたる主なるものは臨江水上警察分署長、採木公司副技師川原茂輔氏等にて、猶多數の女學生を拉致し去りたる模樣なり(安東縣)

◎洪陵に松蛅蟖 李王職にて驅除中

金谷洪陵附近私有林に松蛅蟖發生したるを以て陵員及び山林保護員は數日前より之が驅除に從事中なりしが漸次蔓延して陵域の一部に侵入したる旨情報あり李王職に於ては直ちに吏員を派遣し附近山林監守及び監守補を召集し尚道郡當局面長並に憲兵等の盡力により附近住民三百名を募集し六日より根本的驅除に着手したり尚ほ總督府山林課は新案驅除劑を携帶せしめ應援の爲課員を出張せしめたりと

◎釜山某事件 擴大す 押收品山の如し

釜山○○事件は其の範圍を擴大し各方面に關係ある如し押收書類帳簿山の如く司法部は大繁忙を極め居れるが詳細は報道の自由を有せず(釜山特電)

◎小學生開城行

京城鍾路小學校高等科二年生補習科生徒七十名は修學旅行の爲め六日朝開城へ向へり

見學團後記(下) 見た儘聞いた儘 一記者

絹絲と人造絹絲の比較と製造法を聞いて居る內、人造絹絲は原料が木材で貴方達の ◆下駄でも 出來ますと聞いて人智の進んで居る事と科學の力と云ふ事に一同今更の如く驚きの眼を瞠つた。畜産所では牛乳の鑑別法として(一)水を加へた牛乳(二)米の磨ぎ汁を加へた牛乳(三)酸敗せる牛乳(四)汚物を混入した牛乳の實物が一々說明付で示してあつた、是は子供保育上直接 ◆大關係が あるので牛乳を手に取つた上『明日から牛乳を試驗して見るワ』模範場では米と麥に就て甲麥と乙麥とを掛け合すと斯うした麥が出來るその系は是れであると系統的に面白い話があつた、其他一日では到底見切れない程趣味と有益に富んだ物が陳列してあつた團員の中には手帳を出して熱心に ◆筆記して 居る者も數有つたので定めて相當な知識を得られた事と思ふ、終りに當日團員の爲め多大の援助と歡待を與へられた勸業模範場、同種苗所、中央試驗所、畜産所、水原郡廳並に水原面、朝鮮風化堂、大日本麥酒會社、東拓出張所、漢城銀行支店、東山國武兩農場各面里區長上原陸郎諸氏に對し深甚の謝意を表して筆を擱く。

中村三段(左)の對局振 右は紀本氏三段格

本社が體育奬勵の爲め企圖したる壯烈なる大試合
半島野球史上の壯圖たる京釜兩軍の第一回戰
主催 京城日報社
京城軍 釜山軍 對抗野球試合
期日 來る八日正午より
觀覽隨意 各學校團體にして觀覽希望の向は至急本社に申込まれたし(但し定數に達せる際は謝絶す)
場所 龍山新練兵場

◎集配人募集 京城郵便局にては內地人朝鮮人若干名至急採用に付希望者は履歷書携帶同局郵便係へ申込むべし給料は月給廿一圓の外に手當及び勤勉手當を支給し且つ月收廿四圓以上勤續する時は現業手當若干を支給する由

運動界

▼京城軍練習試合

釜山軍の新銳を迎擊しようと云ふ意氣天を衝くの概ある我京城軍は整々陣容を堅くし五日午後五時四十分より京中グラウンドに東洋協會專門學校を迎へて小手調べと云ふ意味で練習試合を擧行した京城軍は田邊氏と京俱朝銀の猛者連によつて編成された好個のチームである兩軍の陣容左の如し

京城軍		東協軍
野村	右	石黑
倉田	遊	佐倉
湯原	捕	山口
松村	三	志賀
佐々木	二	加納
松浦	投	平田
勝木	中	眞鍋
奥	左	和田
小阪部	一	國岡

京城軍の攻略は整然として一糸亂れず然かも東協軍も必死攻寄せたので緊張した試合であつたが東協軍は初めに二點を得たるに反し京城軍は累次に勝ち遂に十對二で大捷した東協軍もよく戰つたが京城軍は稍々控目に戰つたらしい來るべき試合に對する思惑が實力を節約した傾があつた雨か風か釜山軍に對する京城軍の戰法こそ刮目して待つべきものであらう

▼大田の庭球戰 大田庭球俱樂部にては八日の日曜日に公州庭球會員の來援を得て榮町朝鮮俱樂部にて庭球大會を開催する由(大田)

▼安東の庭球戰 新義州軍の挑戰に應じ安東軍は八日の日曜日を卜し午後一時より公會堂コートにて庭球戰を試むる由なるが當日の決戰は頗る見物なるべく目下夫々應援隊の組織に奔走中の熱心家もありと(安東縣)

義太夫天狗相撲

西 松鶯會 高橋翼
東 新町 天狗

天狗はその昔都太夫と名乘りたり名前だけ玄人の仲間入りしたりと自稱する大天狗、翼は松鶯會の人氣役者、兩人喝釆の裡に綺麗に立上るや翼先づ『白木屋』の丈八にて天狗の右手を引込めば天狗は得意の『竹雀』にて翼の觸を取らんと突しつゝ『竹雀』にて翼の觸を取らんとせしも、翼利ませず▲天狗更に『御殿』の飯焚きにて円きに極め釣出さんとせしも、翼は『本下』の若狹の助で、その手は食はぬと押切らんとし、天狗危ふかりしも土俵際で『御坂』に出し淨瑠璃で『菅原』式法に押返す▲翼新に『明烏』のサワリで叫べしも、利かず土俵際で『寺子屋』の如く反りて踏へつゝ得意の『弧次郎』で打賣り(茶理)の變事に極つて天狗土俵の外に投出され、翼の勝は面白し▲この取組で嚊出し物振はず、最後に他の得意の手を出せば、或は押切りたかも知れず、兎に角惜しき失敗
▲次の取組は石水(むつみ連)と栃の家掠爺(松雀會)

淨法寺師團長は今でこそ若干健康を害したので盃の數を重ねぬが其昔は天晴れ酒戰の強者として名高かつた▲曾て青島攻圍戰の時も師團の精兵を率ゐる敵の左翼から遮二無二壓迫し敵の心膽を寒からしめたが▲將軍は常に最前線に立ち周章狼狽する敵情を眺めながらそれを肴に水筒の酒を呷つたものである▲一見ブツキラ棒の如くだが非常に情誼に厚く一端將軍の部下になつたものは其恩を讃へてゐる▲又頗る平民的で此程も內地から家族を呼び寄せ二人の愛兒を三坂小學校に入學させる時も平服の儘二人の子供を隨へて學校に到り『私は淨法寺です何分子供を宜しく』と先生方に敬意を表したので學校側では却つて面喰らつたさうな

○株式の本が好く賣れる

休戰と共に一時冷却した株式熱がまた〳〵燃出して來た右に就き大阪屋書店員は語る昨年の今頃は非[illegible]た實質のあるものを擇ぶ傾向を示す例へば會社の營業狀態は堅實であるか否かと云ふ樣に極く眞面目に研究[illegible]

○贓品を畑の中に 平安南道江西郡生れ當時平壤碑九里牛車輓子洪[illegible]十二圓を窃取し其半分を他に賣却殘部を附近麥畑中に匿し右賣却金を以て遊興せると本町署の[illegible]

小藤初五郎、早瀨元一、森田貞次郎、石川[illegible]

京城地方 曇後少雨

樋屋 奇應丸 小兒 ほなそ、はしか かんむし、ねつさまし

大阪天滿 樋屋合資會社

二十割の大利益ある 金もうけ
十圓か二十圓位あれば其資本金の二十割位の利益ある好事業あり全國各地何人にも副業本業に成功す但し永久的事業なれば今直ぐ御申込次第詳細說明書進呈す 東京下谷區初音町三丁目 東京化工社

値段が安くて品が好い何故 織元の廉價
年額四千萬圓の織物大産地に在る丸登織物會社は從來幾多商人の手を經て需要者に渡りつゝ有りし織物を元織より直接販賣し提供を揭げて多大の利便を與へし結果今や滿天下需要者の認むる所となる今年夏物流行の珍柄優秀品を以て提供す左記破格特價
特製高貴織紳士向 九圓五十錢
本絲織紳士向 九圓
別製平和御召 九圓
精巧縞御召 六圓五十錢
特製縞セル 拾圓
同絹セル 六圓五十錢
同好高貴縞男女向 四圓七十錢
絹立高貴縞 六圓二十錢
珍柄名仙綿及び絣 五圓七十錢
若菜名仙絣 四圓二十錢
最新流行朱子男角帶 四圓五十錢
流行羽二重女帶側 三圓七十錢
八千代羽二重女帶側 三圓五十錢
實用瓦斯縞及び絣 三圓二十錢
大巾縮緬兵兒帶 二圓七十錢
特製大巾縮緬紳士向 七圓
兵兒帶一丈物
特別製絹地
用絹縮緬羽二重衣地男向 二圓六十錢
御注文は男女年齡の別を記し御希望の柄選定の上引換便にて送る
栃木縣足利町六丁目 丸登足利織物合資會社 振替東京三五二七番

質 倉庫完全 若草町三八金井醫院裏 麻生質店

◆開業御披露
今般左記へ開業仕候間何卒御引立御愛顧の程願上候
京城本町參丁目 御料理仕出し 東雲 電話一〇四七

▲有効確實ニシテ食前ヲ俾セル マラリア特效丸
定價表金拾錢貳拾錢參拾錢五拾錢壹圓 販賣店各地有名藥店
龍山元町二丁目 本舖 林藥房
代理店 京城本町一丁目 合資會社山岸天佑堂
代理店 釜山辨天町 大黑南海堂
代理店 平壤大和町 森田草藥堂

滿洲遠邇

(第一版)

大山坑々長 (四十一)

一貫生

モンド瓦斯から得べき副産物の事は前に云つて置たが愈々モンド瓦斯が發電所に這入つて猛烈に燃燒する發電所は第一第二の二箇所にあつて第一發電所にはパーソン社の千キロワツトの發電機が二臺とアルゲマイネ社の千五百キロワツトの發電機が一臺第二發電所にはアルゲマイネ社の千五百キロワツト發電機二臺とゼネラルエレクトリツク社の三千キロワツトの發電機三臺があるまだ何でも三千キロワツトの發電機三臺を増設するとか其れは〳〵鼻息の荒い事おびたゞしいバブコツフの何とかやれターボオルタネーターとか機械の事は申し上げる拙者にも充分判らねば讀者も眠くなるのだらう書く拙者迄が眠い何にしろ素人の眼を引つ繰り返さす素敵なものだ撫順地方の様な處や神鳴様を生捕つてある様な處やイヤもうお話にならぬ其れも其の筈撫順に於ける此處が電氣の總元締であつて汽車の代用をする電車から鑛山は無論の事總ての原動力に供給せらる、電氣は皆此處から配給せられて居る之れはモンド瓦斯工場だがこれが利用せられて硫酸工場が出來化學工場がある此化學工場では永い間の係争となつて居て昨年十二月漸く確定實行する事となつた大日本肥料會社との共同になる空氣中から窒素を取つて硫酸アムモニヤを製造すると云ふ日本唯一否東洋唯一の珍らしい手品の様な事をやつて居る此處は極密だから何人が行つても見せぬ又拙者等が見た處で何の判り相なこともはない其れよりも鑛山の穴でも覗いて居る方が好いサア〳〵其の方に行かう未だ骸炭工場があるイヤ何見ないと云つて豈何のがいたんあらんやだ大がいの處で御免を被れ大山坑に行く卷上げ器は頻りに手品師が箱の内から何にか取り出す様に採炭せられた石炭の箱に這入つたのを續々と卷上げて暗い穴から出して來る大山坑の坑長をして居る久保學士は拙者の同縣人で其の人のお父さんには拙者も能く出會つた事がある其お父さんは政治家だつたが久保君は毛色が變つて居る未だ年の若い紳士だ坑長はと聞くと坑へ這入つて居るかも知れませぬ此の若い鑛山家は工夫と共に自身朝から晩迄坑に這入つて仕事をして居ると聞いて大に感心し一寸兎に角坑長室に行く折好く居合せたカーキ色の褪せた詰め襟の服で其の仕事振も察せられる、イヤ石炭掘ですから汚い處は御免を蒙ります今坑から歸つて來ましたが又之から這入ますとの挨拶而して更に言葉を繼けて坑内では未だ昨年爆發の跡末をして居ます坑内爆發に就て語る

◎滯貨次第に片付く

山が見えて一と安心…大連

近時貨車配給の順調と共に頓に輸送力増大し來り滿鐵沿線堆貨は漸減しつゝあり五月三十一日現在四十八萬噸となり眼下一日の配車數は四百五十車内外にて五月中の送貨數量は二十九萬噸をし此調子にて進まば本年は新豆出廻期迄には大體の掃貨を爲し得べきかと觀測さる尚沿線主要驛滯貨は撫順一萬七千噸鐵嶺一萬八千噸開原十萬噸四平街三萬噸公主嶺五萬噸范家屯七萬噸長春三十萬噸ありと

◆奉天經濟通信◆

◎石綿會社好况

奉天　石綿會社　新田　東省實業

勝榮石綿工業株式會社にては創立以來工塲設備の完成を急ぎつゝありしが時局の影響を受け機械類の到着豫定に後れ從つて其の操業開始期も遲延するの已むなきに至りたるも鋭意据付其他の準備を急ぎたる爲め此の程來操業を開始し工場附屬地内と大西關とに設け目下兩者を併せて大約二百餘名の支那人を使用し盛んに生産を急ぎつゝあり、されど諸機械据付早々の事なれば尚ほ多少の手直しを要する箇所及び所要機械來着の分もありて若干の不便を感じつゝあるも尚ほ一箇月の生産格大約二萬圓を下らざるべく其の原料は中和興業會社所有の礦石極めて豐富なる上其の品質も米國産に比し殆んど遜色なきを以て石棉界は諸相問題提起されたる以來一般に不況に陷り其の價格も低下し且つ粗品は多く内地方面に停滯しつゝある状況なるも各方面より相當の注文も入込み工場非常に多忙を極めつゝあり該工場は機械力を用ゆるは勿論なるも計畫の當初に於て支那婦人の手により紡績を得べく所期したる點多々あるを以て目下毎日百名許りの支那婦人を常傭し手車紡績を行ひつゝあるが成績極めて良好なるものゝ如し

◎東省實業配當

東省實業會社は今五月末日を以て第二期決算締切を行ひたるが其期間は第一期に比し業務各方面に亘り繁多を來したる爲め今遽に其の營業成績を具體的に示す能はざるも大體に於て成績極めて良好にて優に一割以上の配當をなし得べき模様なるも今期は先づ配當は一割に止め後期に繰越し其の他を潤澤にし會社の基礎を堅固ならしむべき方針なりと尚總會召集期は未定なるも六月廿五日前後の豫定なりと

◎穀物在高(仁川)

五月三十一日現在仁川在庫穀物數量は玄米四斗入十二萬四千百一叺五斗入四萬七千百三十二叺白米四斗入六千七百六十三叺五斗入一千七百四叺大豆四斗入一萬一千六百七十叺五斗入二十八叺小豆一千九十二叺小麥四斗入二萬一千百六十二叺五斗入五百六十叺俵入九十二個籾子六十五叺大麥百七十三叺俵入二千五百十五俵粟八千六百六十七俵胡麻六百六十一叺なり

◎夥しき内地の牛の不足と朝鮮

◇一年約くも五十萬頭　常松慶北畜産主任の談

◇過般約一箇月の豫定を以て内地に於ける畜産状況の視察を遂げ數日前歸邸したる慶北道畜産主任常松泰氏の談に曰く内地に於ける畜牛は耕牛に於て將た食牛に於て非常なる不足を來し年々朝鮮より約三萬餘頭の移入を仰ぎつゝあるも尚不足の狀態にて今後毎年十萬頭の供給を仰がざれば到底目下の狀態より脱する事困難の有様なれば朝鮮に於ける畜牛は前途益々有望なるを以て慶尚北道として今後は一層畜産の奬勵を爲す筈なり(大邱)

◎輕井澤夏期大學

後藤男爵を總裁とし新渡戸博士を會長とせる通俗大學會にては昨夏信州輕井澤の地を卜し夏期大學を開設し英語、哲學、文學、法律、經濟、理學等に關する講義をなしたるが本年も來る七月二十七日より八月二十三日まで開講式を擧げ四週間に亙るものなりと

寄書

民心を和げに

…巡回講演をした經過…時局…

平壌組合教會主　高橋興藏(寄)

(一)

本年三月以來朝鮮各地に續發した騷擾事件に對し組合教會の立場からも相當盡すべき責任ありとして京城に在る朝鮮人傳道本部主任渡瀨講牧師は眞摯を讀じ殊に所謂時局講演會を各道に開催することになつた次第である、而して西鮮地方は四月十五日から先づ平南道の江西、龍岡、安州、江東、成川、中和、外六箇所に開催した鮮于、本間清の二氏と僕が共局に當つたのである而して五月廿四日より九日間平北道の義州、鐵山、宣川、定州の四箇所に開いたが平北道に鮮于氏と僕と二人丈で巡つた

(二)

到る所の開催地では郡廳や警察署又憲兵隊の方で便宜を計つて與れたので少なくも二百名多き所は五百名以上の聽衆があつた而して會場は大抵普通學校の教室を借りたが成川丈は天道教の教室で開催した聽衆は開催地に依つて一様にはないが先づ宗教に關係のない鮮人が一番多く次は長老會天道教の信者次は内地官民といふ順序の人々であつた講演は云へば鮮于氏は『朝鮮の現在及將來』といふ題で併合の理想を熱心に高調せられたので聽衆の中に敬服してるもの少からずあつた此迄は誤解して居つたと懺悔話を聞く様なこともあつた僕は平南では人生問題に就いて話し平北では『地上の天國』といふ題で説いた

(三)

鮮人一堂の中に會して二時間餘に亙る講演を靜聽に聽聞したのに餘程の辛抱を要した譯であるといふ何故かと云ふに始めから通譯も一切附けない事にしたからだ鮮于氏が講演する時は朝鮮語を解しない内地官民は辛抱しなければならず僕が話す時は國語を解しない鮮人は條件忍耐したに相違ない然るに斯うした種類の講演が至る所に歡迎せられて五六所よりは此種の講演は一回より二回三回と重ぬるほど有効であるから是非年に三回位開催して呉れと云ふ請求もあり又毎月一回來て貰ひたいと云つてる所もあつた謹する所時勢の要求であると思うた此が以前なら逆く爪も立たない有様であつたのだが今は僕等の如きもの、講演でも歡迎する様になつたのは時勢が其事を要求させて居るのでなくて何であらう

(四)

今回の講演會は傳道ではない基督教の說教をなして『サー信じて教會に入れよ』と叫んだのではない所謂時局講演會で騷擾に因て搔き亂された朝鮮人に眞の理解を與へ失望してる人に希望の光明を與へ又内鮮人共通の責任感を喚起して今後の時勢に順應して奮鬪する様にとの通俗的講演會である、此云ふ趣旨で本年九月迄繼續する事になつてるのである西鮮の方は鮮于氏と僕が此から黄海道を巡り夫から平安南北道の第二期の運動に移る心算である中途外部からの支障あらば致し方がないが僕は飽まで豫定通り實行して組合基督教會の對時局運動の趣旨を果したいと思つて居る次第である

蠶況

共同販賣日割…忠南…

忠淸南道の蠶業は近時著るしく隆盛に向ひ本春の掃立枚數は二萬九千九百餘枚にして蠶兒の掃立は桑葉の伸張と均衡を保ち且氣候の適順なるを得發育頗る可良にして收繭豫想目下の處七千七百八十餘石に昇りこれが販賣は郡蠶業組合にて共同販賣を斡旋する由にて販賣期日及石數左の如し(公州)

郡	共同販賣期日	市場所	石數
公州	自六月五日至七月十日	公州錦江館	一、〇〇九
燕岐	自六月五日至七月十日	鳥致院燕岐郡廳	三九六
大田	自六月五日至七月十日	大田蠶業傳習所	四五四
論山	自六月一日至一月十日	論山郡廳	三二九
扶餘	自六月五日至七月十日	扶餘郡廳	三六七
舒川	六月二十五日	舒川蠶業組合	四六三
保寧	六月二十八日	保寧郡廳	四六八
洪城	七月一日	洪城郡廳	六一六
青陽	自六月五日至七月十日	青陽郡廳	六一八
禮山	同	禮山郡廳	六七八
瑞山	七月七日	瑞山郡廳	六一二
唐津	七月四日	唐津郡廳	四四九
牙山	自六月五日至七月十日	牙山郡廳	六三三
天安	自六月五日至七月十日	天安郡廳	四四〇
合			七、七八二

鬱陵島春蠶…(減收)…

鬱陵島に於ける春蠶掃立枚數は四千枚なりしも去月二三日風雪の爲め桑葉に被害あり蠶兒の發育不良にして收繭豫想目下の處見込付かざるも約五割の減收ならん而して出廻期は本月中旬頃なるべしと云ふ(大邱)

◎道長官と儒生

感情融和…江原道

江原道長官元應常氏は過般來騷擾地の状況を視察する爲め管内各地に出張したる際到る所郡廳に於ては邑内旅館に邑内の儒生七十餘名を招待し一場の訓示を與へたる後儒生等をして平素抱懷せる希望を開陳せしめたるが道長官が親しく地方民を招待するが如きは前例なき事なるのみならず儒生等をして常の希望と鬱積せる感情を吐露せしめたるを以て儒生等も非常に感激し夫れ〳〵謝意を陳べて引取りたり(原州)

◎都ホテル(奉天)

昨年來工事中なりし奉天の大建築たる都永太郎氏の請負なる都ホテルは工事漸く竣功せるを以て近日中に開業する豫定なるが同館は煉瓦四階層にして内部は和洋二様に區別し客室併せて二十有五を有せる由にて大規模の旅館から位置も中央に近く女中等も全部東京より呼寄せたるものにして調度其の他も豪奢を極めたるもの也と

◎發疹窒扶斯 尚熄まず(仁川)

一兩箇月に渉りて愈々夏の節季に這入ると恐ろしい惡疫流行の季節となる仁川では春以來大した流行の模様もなく僅に一兩名の患者を出だしたに過ぎぬが過般來の病勢は發疹チブス發生以來仁川府内に蔓延して居る仁川の患者は以來六月に入つても終熄せず今日まで六十一名の患者を出して居ると云ふ程でもないが差して蔓延すると云ふ程でもないが而して決して終熄しない處から見ると將來の暑氣の増加に伴なつて

或は意外の蔓延

を見ぬとも限らぬ一般に最も注意を要するのは近頃の發生に罹る患者の數を見ると去る二十六日に四名二十七日に三名二十八日に四名更に二十九日一名三十日一名六月二日二名三日三名と云ふ具合に

日に平均三名

患者が出ぬ日はないと云ふ有樣である收容患者は總て寺町病院に收容して居るが出ては入り入りては出る有樣で決して減らぬ現在は二十一名の患者を收容して居るのである

◎烏居奉天出張所新設

市内醬油問屋烏居號太郎氏は滿洲發展の一端としてキツコーマン醬油製造元野田醬油株式會社の特約者として今回奉天市街西南門外に出張所を設け會社勤務作太田氏を所長として六月五日より營業を開始せり

農信

麥作狀況…慶尚北道

慶北各郡より達せし大麥小麥の收穫豫想報告を照合するに本年度の收穫は昨年に比し約二割の減收見込にして今之を既往三ヶ年間の實收に比較する時は即ち大正六年百六十九萬七千五百六十八石同七年百十三萬五千三百十一石本年の收穫豫想は百四十萬八千二百十六石小麥は既收高大正六年二十八萬六千四百一石同七年十九萬三千八百三十二石にして本年の收穫豫想二十八萬三千二百九十六石にして本年の收穫は何れも收穫高は平年作に比し大差なきも植付反別より比較せば二割減は免かれざるべしと(大邱)

商況

株式

◎東京現株中値 (五日中値)

銘柄	中値
東洋拓殖	八五、〇〇
同新株	……
朝鮮銀行	二〇三、〇〇
同新株	……
南滿鐵道	一五八、〇〇
第一新株	一三五、〇〇
第二新株	九九、五〇
京城電氣	……
同新株	……
南滿製糖	二七、〇〇
朝鮮瓦斯	一六、五〇
大阪商船	一七七、〇〇
同新株	一二三、〇〇
日本郵船	一三六、〇〇
同新株	一一三、〇〇
鐘淵紡績	三八〇、〇〇
同新株	三五一、〇〇
東京株式	二八八、〇〇
同新株	二六七、五〇
朝鮮興業	……
寶田石油	一二一、〇〇
同新株	一五二、四〇
横濱取引	一一八、五〇

◎東京株式特電 (五日前場)

銘柄	値段
東京株式	二九二、〇〇
同新株	二七四、〇〇
大阪商船	一七〇、〇〇
同新株	一二〇、〇〇
日本郵船	一四〇、〇〇
同新株	一一五、二〇
東洋汽船	九八、一〇
同新株	四三、九〇
鐘淵紡績	三九七、九〇
同新株	三四一、九〇
東洋紡績	三六三、九〇
同新株	一六〇、六〇
富士紡績	……
同新株	……
[illegible]	一二六、九〇
寶田石油	一二三、一〇
同新株	……
横濱取引	一三二、〇〇
新高製糖	一三五、七〇
北海炭礦	一三二、〇〇
同新株	一二四、一〇
南滿鐵道	……
第一新株	一一六、九〇
第二新株	一〇一、四〇
東洋拓殖	八六、三〇
同新株	四三、七〇

◎大阪株式 (至急報)(主力株爆發)

銘柄	六日前場寄付	前日比較
大株	三四九、七〇	三〇、〇〇高
同新	二四〇、一〇	二三、一〇高
日郵	一五九、八〇	一〇、二〇高
同新	一三三、八〇	八、四〇高
商船	一七六、九〇	二、九〇高
同新	一二四、三〇	九、七〇高
鐘紡	三八八、五〇	三、八〇高
同新	三四〇、〇〇	二五、〇〇高
東紡	三六九、二〇	二三、九〇高
東糖	一五九、五〇	三三、〇〇高
堂米	一七〇、六〇	九、六〇高
仁取	四四〇、〇〇	二、〇〇高

◎京城現株 (値段)

▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込額	現相場
仁取	二五、〇〇	▲八九、五〇
鮮銀	一〇〇、〇〇	二〇五、〇〇
同新	五〇、〇〇	一五一、〇〇
東拓	五〇、〇〇	▲八五、〇〇
同新	一二、五〇	▲四四、五〇
殖銀	一〇、〇〇	五〇、〇〇
朝郵	二五、〇〇	三七、五〇
電興	一五、〇〇	一七、五〇
皮革	三〇、〇〇	二六、五〇
東畜	一二、五〇	一三、五〇
朝紡	一二、五〇	▲二〇、〇〇
朝紙	一二、五〇	二六、〇〇
商銀	五〇、〇〇	▲五七、〇〇
滿毛	一二、五〇	一九、〇〇
鮮煙	三〇、〇〇	一二、五〇

▲主力株爆發

より多少熱狂を加へたが思ふに直ちに豫報的利喰物に再び冷却に逆戻りし居たる株式市況の前途は更に向大相場の出現を暗示して居るかの如く思惟せらるべき大相場の出現を暗示し居るかも知れぬ其の步調振りが恰も日露戰役と酷似して居る點よりされて居る極力買ひであるが然し果して大株の前場寄付に於て大株三十圓

同新二十二圓

大に朝鮮十六圓の奔騰を見せ東洋糖亦三十圓九十錢高新五圓七十錢高となり鐘紡は二十八圓新二十三圓高

▲東拓株又昂騰

東拓株は其の後の人氣益々良好にして昨日迄は寄八十三圓五十錢新株四十三圓處にて買行はれ賣手少なく一昨日後に至り新株共に

壹圓五十錢方の新高値

四十八圓五十錢新四十五圓五十錢にて各五十枚宛の商内出來せり

▲仁取又復奔騰

遂に九十圓臺出現

仁川取引所株は連日小刻みの昂騰を續け居る點より一般市人は其の上値を見越し此の趨勢は目下の取引所の成績と相俟ちて益々上伸せんとの見込みより七十圓臺の安値持續も其の天井値を見極め限り容易に利喰ひせざる模様も無く之れに反して賣手は逐日減退し一方なれば買氣は自然に突飛な呼値を見るに至りたるもの〻如く昨日の後場へは八十四圓五十錢へ一躍五圓方の

奔騰を告げ遂に九十圓

臺の新高値を以て本日前場の商內は含筋へ五十枚の商内ありしが何れも仁川に於ける有力筋の手に賣物は悉く吸收せられたれば今後も此の上値を續くべしと云ふ者あり

▲仁川の仁取株

仁川米豆取引所の現在の商内振りでは今にも百圓の買ひ物が出て居り高値を主張すれば程手持筋の賣惜

▲程手持筋の賣惜 高値を主張

し居りて投機界の常習であるが現在の商況では九十三圓出して買ひ物なく今朝は九十一圓五十錢にて取引行はれしが手持筋は買ひ氣味にて九十二圓見當迄は賣惜みしたるが如き好況を呈し居れり

▲朝紡株小高し

朝鮮紡績株は最近迄二十九圓五七十錢更に唱へ居するか其の後へ買人氣に刺戟されてヂリ高歩調今迄り又復小一圓の昂騰を來し二十二圓五十錢と上放れたる新値を以て本日百五十枚許りの商內ありたるが一般へは二十圓ドタ維持し居れるもの〻如し

▲諸株ヂリ高

朝鮮郵船株は時價三十七圓を唱へ居るが一兩方の上値八圓にて買氣む向最近非常に現はれたるも買物無くて商內出來せず銀行株は近く増資の必要に迫つて居るに付き朝鮮商業銀行株は五十六圓見當にて買氣あり滿蒙毛織株は朝鮮に於ける需要激増するに至れり從つて少なきが本日は二十九圓にて二十株の商內を見たり

米況

◎東京期米特電 (五日後場)

	五日後場	六日前場
寄付	三五、三四	……
高値	三四、五〇	……
安値	三四、五〇	……
止め	……	……

◎大阪期米特電

	五日後場	六日前場
寄付	三四、二四	三五、四三
高値	三四、四四	三四、三九

◎神戸期米特電

	五日後場	六日前場
寄付	三四、一八	三四、三〇
高値	三四、四〇	……
安値	三三、九〇	……
止め	三四、四〇	……

◎下關期米特電

	六日前場
寄付	三五、八〇
高値	三五、七七
安値	三五、五〇
止め	三五、五〇

仁川期米 (高保合)

▲六日前場

▲第一節　今朝天候晴天各地入電も前日大阪止め先限の賣り人氣に先三十六圓二十五錢と二圓一丁高に寄付

▲第二節　六圓三十八錢より買物多く五十錢下押したるも利喰ひもの續出して三十五錢さ

▲第三節　下押して四十錢利喰ひ商、見の買物出て先三十六圓三十錢

▲第四節　下寄り三十六錢に押し、第四節大阪商況の入電

三十九錢兵庫三十四圓三十錢

四十五錢に躍進

と觀測せられつゝあり何か内地電報の延着で氣迷裡に高保合に前場を放合せり

市場雜觀

平均値段	
一節	三十六圓三十七錢
二節	三十六圓四十八錢
三節	三十六圓四十錢
四節	三十六圓三十九錢
五節	三十六圓三十九錢

相場は人氣の要を走ると云ふが相場は古錢の通りであるが何故か本日の夜放れ投げ百五十丁の夜放れと反對には如何なる處あるか本年の米界は豫想外の歩であつたろうか

▲前途樂觀乎

前場　東京

供給不足を曝はるゝ米も内鮮共に未だ各地に相應の貯米ありとの説多く米價の依然高値を持續せる結果之が延喫しは案外大にで來る端境季には不足の米相つて高利を生ずべしとは噂ら時氣一派の成行引水説にして一笑に附する能はさるべく今や政府に於ても米價調節の方針決定し外米輸入に對する補助及農家持米の手放し强制又は金融緊縮等次第に米價緩和の策を講ぜられんとせるのみならず更に官營の與論さへ漸次勢力を占めんとるの形勢あれば社會問題と相俟つて米界下半期の氣勢は變動の機期に反し一大變動を來すや測り難く從來所界に覇を爭ひし猛者と雖單に金力と腕力とのみ頼むべからざるが如し

(サ) 齋藤榮之助　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　電話長三六七番

▲京城正米市場

政府の調節決定と買過ぎ反動にて大暴落を演せし期米も外米の保護及内鮮正米の下落ぶり等にて之と均衡上高過ぎ谷め薄き氣配にて漸く反動の喚ひ人氣再び押目買の聲に移り乘れり從つて地場正米も之が氣合を含みて聊か

底意氣丈の觀り

を呈し强含みの成行きに付き正米の成行きに附隨されなるも共に

下に附隨さる

上に騰り持合ひ唱へ

▲鮮人思惑頓挫

頃日來鮮商間に於て米の思惑を爲したるものありしも當地も期米の大暴落に一頓挫を來し今や

全く之等

▲仁川正米市場

思惑頓挫せり

内地正米

一二圓安

海道物にて三十四圓七十錢にて三十五圓方に落ちても買取手なし

平澤物にて三十五圓二三十錢

引皆無狀態

仁川期米の成行に依りて活氣を失ひ取引皆無の狀態なり

▲仁川大豆崩落

仁川期米の大暴落を受けて大豆も亦人氣落付き模様にて

▲滿洲粟動く

▲釜山正米市場

二十錢の高値

三十七圓

各地米況

●大邱(五日)　昨日崩落の跡玄米(小反貶)期米後場各地共五十七丁引返しを移したる爲恐怖投げ物一巡の風説あり押て再反撥を氣構へ

三品

◎橫濱生糸相場

一千八百九十圓見當に場違

◎大阪三品特電

六月	四四、七五
七月	四三、二〇
八月	四二、二五
九月	四一、八〇
十月	四一、〇〇
十一月	四〇、〇〇

▲綿布惑亂調

▲投賣漸く

投賣策戰的に正米の

◎釜山海産狀況

生魚市場

雜報

十九圓六七十錢

一流筋の手に

先物建玉

最低十九圓

一圓四十錢安

マバラ筋の投物

演藝案內

喜樂館　本町一丁目　電話五九七番　有樂館改
當る六月六日より特選三大映畫提供
滑稽　スペシヤル　黑ん坊ボツブス
米國トライアングル會社特作映畫　エアアンス氏原作
悲劇　豪雨の一夜　全五卷
國定忠治　全五卷
新派悲劇　白萩　全五卷

東京　樂遊　東都浪界の巨頭　益々大好評　六、七、八日　三日間日延　浪花館　電話一六〇

黃金館　六月六日より　電話二三六六

浪花館　東家樂遊

壽座　京城本町　電話五七八
阿房宮　三場
はづかしい　二場
そうした物か　三場
御免やす　二場

大正館　電話八七三
國威　全四卷
想夫憐　全六卷
鬼小島彌太郎　四卷

寫眞　京日寫眞製版部

痛を止め　炎を消し　膿を去り　尿を通ず
リン病　アラヒ藥
複方　タルリン
◎本劑は如何なる重き痲病と雖も之を用ふれば直に其効現はれ又患者適宜に溶解し用ふるものなれば腐敗の虞なく且携帶に便なり
價　二十五錢　五十錢　七十五錢　壹圓
本舖　大阪市　高橋盛大堂藥局
發賣　同心齋橋筋　高橋盛大堂分店
同　東京市神田　高橋盛大堂出張所
◎到る處の藥店にて販賣す

日本名刀傳 六十七

東京　田邊南龍講演

津田近江守助直（六）

近『ハイ、就きましては心許りの私の土産、御受納なすつて下されまし　八『結構なる贈り物、喜んで受納致すでござらう、ドレ〳〵拜見致さう』近江守助直は改めて風呂敷を解き箱の蓋を開けて差出す　八『ウム、是れは立派な贈り物何れより求めて參つた　近『ハイ、旦那樣が今から七年前、八月十五日のお月見の御酒宴に大野樣に御恥辱をお受け遊ばされたのが如何にも口惜しく殘念で耐りませぬから、何うかしてお腰の物をお贈り致したいと存じまして、永年心を碎き斯樣な品を持參致したのでございます、お納め下さいまして嬉しく存じます　八『ハヽア、左樣か辱ない』と箱から出して鬱金木綿に包みある太刀を取上げ、包みを除つて熟く視れば鍔は奥州の國久、搾は京の後藤祐乘、やがて半紙四ツ切を口に啣ゑて覆面の代りに鍔元に右手を掛け鯉口を切つてキラリ鞘を拂つて、柄頭から鋩子先、横刃、鐵色、匂へ、匂ひ、熟と見下しましたが、實に美事な出來、水もたまらず露も零る許り、岡島は滿面に笑を含んで掟度が眺めて居る、御新造は兩手を突いて是れが夫の腰に差されるのか、直助の贈り物、嬉しき事だと我れを忘れて見惚れて居る、岡島はやがて、拭ひを掛けて鞘に納め　八『何と美事な品ぢや、拙者の鑑定では當時天下に名の高き新刀正宗の鬪ひを執つた津田越前守だと思ふが何うか』流石は刀劍鑑定にかけては自慢の八十右衛門、好くも見たるものかなと　近『ハイ、恐れ入りました　八『して津田は師匠の越前守なるか或は弟子の近江守も師に劣らぬ刀劍鍛冶なりとの評判ぢや、拙者も昨年他家で一振見たが、實は良き名刀鍛冶が出來たものだ、此方も津田は津田ぢやが、越前守なるか近江守なるか其處はごうも見分けが付かぬテ　近『ハイ、お鑑識の段、愈々以て恐れ入りました、是れは師の越前守に弟子の近江守が向ふ槌を鍛ちました越前、近江守合作でござります　八『ウム、是れは大層な物だ、金銀では到底求められぬ、越前近江合作とは珍らしい、して直助、斯かる品を容易に獲るとは今日の身分は如何に……　近『ハイ、まだ申上げませぬでしたが、實は私が唯今お言葉の端に掛りました近江守助直でござります　八『ハヽヽ、コレ〳〵、直助戯言を申すな』

雨降りには　みのとかさ　龍山三角地（電話六四八番）金川商會

〇雨…南鮮…二日中鮮以内の

五月中は北鮮地方には低氣壓の去來頻繁にして時々降雨あり就中上旬末には平安北道方面にては豪雨の爲被害を見たる所ありし樣なりしも南鮮地方は今春來引續き降雨寡少なりしが本月二日木浦方面に顯はれたる低氣壓は甚だ淺薄なる者なりしも忠清南北道以南一帶に降雨を齎し其量は概ね五十粍内外に達し忠清南北兩道及び慶尚北道西部にては八十粍を超ゑたる所ありたり今其五十粍以上に達せる所を擧ぐれば次の如し（六月四日午前觀測所）

馬山	七四	晋州	五四	宜寧	七八
梁山	五三	密陽	五七	大邱	六〇
星州	八四	永川	五一	金泉	七七
釜山	八〇	尚州	七五	英陽	六三
聞慶	六九	醴城	五三	醴州	六四
咸平	五五	光州	五六	潭陽	六七
長城	六七	井邑	五六	金堤	五八
全州	五九	鎮安	七七	茂朱	七〇
群山	五七	臨陂	十三	大田	五三
公州	七〇	洪州	九二	温泉里	八七
鳥致院	七六	瑞山	八三	報恩	七二
清州	八〇	鎮川	五二		

京城本町二丁目　野田時計舖　（電話二八七四番）

六月八日

（舊）五月十一日　日曜日▲かうとう▲四緑暗劍殺は東南▲先負▲昴▲おさん

▼四緑▲心に迷ひの起り易き日也
▼五黄▲前後を考へ合せて進まば順序好く物ごと一切運ぶべき日也
▼六白▲働き築ひのある日にて我意を張らず物事に當らば凡て吉也
▼七赤▲忙がしき日にて恐らく繁昌を見る日なるべし萬事進んで吉
▼八白▲ちよつと氣の許せぬ日也と思ひのまゝにスラ〳〵運ぶべし
▼九紫▲心正しければ諸事の意の如く叶ふべき吉日なり、よろづ吉
▼一白▲圓かなる好き日なり物ごと
▼二黒▲思ひの外に幸せの好き日
▼三碧▲難局と思へる事も強て進まば意外に成功し得る途あらん

自動車

開祖東洋第一の本校卒業生は直に運轉手技師販賣員となりて收入莫大なり甲種運轉手速成二ケ月卒其他技術科設計科及校外生募集規則送
東京市京橋區　東京自動車學校
大阪市市岡町　大阪自動車學校
福岡市中島町　福岡自動車練習所

乳の出る藥

廣告を以て世を瞞着するイカサマ藥と違ひキツト出る調合藥を返信料添附申込の方に無代進呈
兵庫縣明石町　湧泉堂本舗

りん病 消渇で

困る方切手三錢送れ多年の慢性も自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代でお教へ致します
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

專賣特許　ケイフ　一名ガラスふきん
在來の硝子ふきんの如く器具藥品を要せず手を汚す事なくやすくきれいに磨けていつ迄も使へる徳用な便利なガラスふきんは又西洋器發などのあぶら染を取るに最も妙なり是非一度御試し乞ふ　見本一枚十八錢送料二錢
京城太平通り　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話長六〇〇九番

電話賣讓　二六一　七九六　七七　本町二ノ五六　吉田屋　電話八五五番

梅毒も淋病も安全に治る

前帝國醫科大學特命製劑の名藥を撰ひし藥劑士赤井先生指導の下に當所の新進醫藥學者が研究せる…
藥化學療法は在來より行はるゝ自宅療法と其趣を異にし専ら使用の安全、簡易、經濟を主として完成されたる現代に於ける最善良法なり。
東京藥化學研究所　東京市本所向島小梅町
ハカキに病名を記し申込め彩色圖入解説書非賣品贈呈
無代進呈

人から嫌はれる
わきがを
◉根本的なほせ　疑ひ深い人は死ぬ迄なほらぬ
◉化學的療法無代進呈　藥學界に名譽ある醫學一等藥劑博士先生は男女わきが持にてお困りの人を助けん爲め數年間の苦心研究の結果

果今回最も進歩したる「チゼン液」と云ふ不思議にヨクキク責任ある藥を創見致しました是迄無責任な一寸藥人ダマシの藥品にて効無くお困りの人は彼是と迷はず一日も早く東京府下大久保町西大久保五十一東京博愛藥院研究所へハガキで申込めば新療法の本を無代で上ます

◉不思議になほる

あざ　ソバカス　ほくろ　イレズミ
怜悧げ人から笑はれる今なほせ　藥學界に名譽有る醫學博士醫學一等藥劑師尾先生が數年間苦心研究の結果決して害なく不思議にヨクキク特効藥を發見致しました是迄種々無責任な賣藥で治療しても効無くお困りの人も彼是と迷はず一日も早く三錢切手封入「東京府大久保町西大久保五十一東京博愛藥院」迄申込ば確實安全秘密に治療する自宅新療法の本を無代進呈

贊化病院
京城黄金町一丁目　電話二四番
内科　小兒科　入院隨意　毎日五名を限り施療す
醫學博士　古城憲治
金澤醫學士　打田義芳

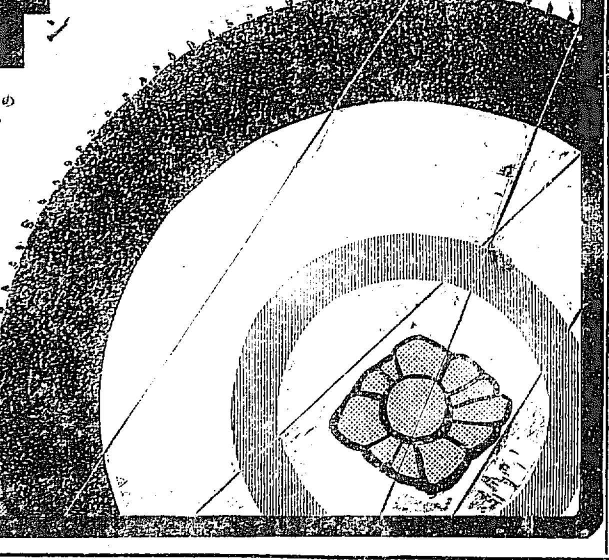
京城府明治町二丁目（本町江戸川横より入る）電話二七八番
内科　小兒科　入院隨意　ヂアテルミー科
中島醫院
院主　中島貞信

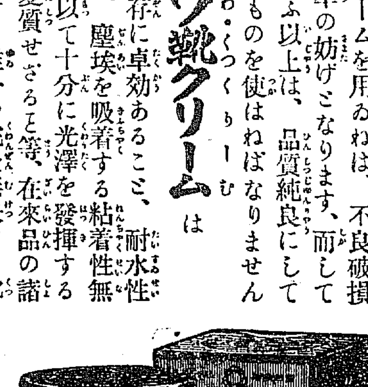
大人モ小供モシマズイタマヌ
井上博士ノ
ロート目藥
眼病を不潔い布や指頭で摩るのは目の爲めに悪いからロート目藥には毒消し布と下圖の樣な新案の點眼器を添ゑてある
定價　徳用五十錢、中瓶二十錢、小瓶十錢
藥は必ず思ひ立たる時買ひ玉へ
胃活ロート　本舖　東京日本橋本銀町　山田安民藥房
胃活ロート　發賣元　大阪南久寶寺町二　山田安民藥房
◎全國各藥店に請賣す

瀬戸外科皮膚科醫院
京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八
醫學士　瀬戸潔
（診察夜九時迄）

降つても照つても體にさわる
梅雨期よ仁丹
飲めば
胃腸強健＝心身爽快

金言
ほごのよき人の心に油斷すなはては眞實のなき人と知れ（林義由）



專賣特許を有せる唯一の完全無缺なる
◎ミツワ靴クリーム
黒、赤、定價一個金參拾錢
靴には靴クリームを用ゐねば、不良破損を生じ、使用能率の妨げとなります、而して靴クリームを使ふ以上は、品質純良にして皮革に特効あるものを使はねばなりません
◎ミツワ靴クリームは
皮革の耐久保存に卓効あること、耐水性の完備せること、塵埃を吸着する粘着性無きこと、少量を以て十分に光澤を發揮すること、保存中に變質せざること等、在來品の諸缺點を悉く除外せる唯一の完全無缺なる靴クリームであります。

賣捌店（靴店、洋品舖、化粧品店、雜貨店、洋酒食料品舖、文房具學校用品）
發賣元　東京　丸見屋商店

大阪商船汽船出帆
（仁川出帆）
△大阪行　△安東丸　六月　日　正午出
▲信濃川丸　六月　日　正午出
（元山出帆）
◉宮島丸　六月八日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
◉安平丸　六月七日　後九時出
（大連出帆）
上海、基隆、打狗行
◉基隆丸　六月八日　前六時出
◉湖北丸　六月廿六日　後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行　毎月一回　北米行　毎月二回
南米行　一年四回　孟買行　毎月二回
濠洲行　毎月一回　南洋行　毎月一回
御注意　◎外航所要航路ハ五分引ヲ以テ連絡致候◎御乘船ノ節ハ時間前ニ御出帆…
大阪商船株式會社仁川支店　電話二一〇番　五〇番
京城支店　電話二一六二番

日本郵船仁川出帆
大連、天津、牛莊行
濟州丸　六月廿九日正午出帆
高砂丸　六月十九日正午出帆
廣東丸　六月十九日正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
仁川海岸町一丁目電話十番　堀回漕部

互光商會汽船出帆廣告
◎第三…丸　元山、西湖、城津、清津行　六月　日　釜山發
◎第三…丸　門司、宇品、神戸、大阪行　六月　日　元山發
第三…丸　五月　日　元山發

朝鮮郵船出帆
大阪朝鮮間ノ各線ハ本社又ハ各地代理店ニツキ御照會被下度候
▲敦賀行　（清津、城津、元山經由）
▲浦汐行　（大阪發、門司、釜山、元山、城津）
立神丸　六月十三日　清津發　六月十六日　元山發
越後丸　六月十五日　六月十七日　釜山發　元山發
▲雄基行　（關門發、釜山、各港經由）
京畿丸　六月十日　釜山發　六月十三日　元山發
雄基丸　六月十五日　釜山發　六月十八日　元山發
元山雄基線（元山起點各港經由雄基）
▲鏡城丸　六月十三日　元山發
▲大阪行　（浦潮發、清津、城津、元山、釜山、神戸經由）
越後丸　六月十三日　元山發　六月十五日　釜山發
▲關門行　（雄基發、元山、釜山）
平壌丸　六月十一日　元山發　六月十四日　釜山發
咸鏡丸　六月十六日　元山發　六月十九日　釜山發
▲濟州島行　釜山發濟州島及各地經由
昌德丸　六月十五日　釜山發
▲濟州島行　（釜山發）
昌平丸　六月十五日　釜山發
▲濟州島行木浦發
公州丸　六月十二日　木浦發
慶興丸　六月十四日　木浦發
▲釜山麗水線　釜山、麗水間往復毎日一回出帆
▲木浦麗水線　木浦、麗水ニテ接續
順天丸　六月十三日　木浦發
▲多島海行　木浦發多島海各島行
金海丸　六月　十日　木浦發
▲木浦行　仁川發各地經由
全州丸　六月十五日　仁川發
▲海州行　仁川、海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎮南浦行　仁川發各港經由
晋州丸　六月十六日　仁川發
▲大連青島行　仁川發芝罘經由
江原丸　六月十三日　仁川發
本社京城南大門通（電話長一九五二）
釜山支店　釜山藤町
元山出張所　元山海岸通
仁川代理店　堀回漕部
木浦代理店　山野回漕部
京城荷客取扱店　松原運送店
其他各貨港地ニ荷客取扱店　電話長一一〇七

京釜線（南行）　同（北行）　釜連絡　京義線（北行）　同（南行）　京仁線（仁川行）

京城日報

第五版

米價問題と銀行

京城日報

昨今の定期米市場は、一日の内に二三圓方の大昂落を示し、全然氣違ひ相場の實を現じあるが、正米は依然として高値を維持し、政府が調節の聲明をも、空吹く風と聞き流しあるに似たり。其の原因は實際米不足にあらず、主として農家の賣惜みのために、市場在米の缺乏に在ることは、政府及び其向の專門家の調査の共に一致する所なり。之に對する政府の方策は地方長官を督勵して、成るべく配給の敏活を圖ると共に、一方外米の輸入に對し、多額の補給を爲して、要所々々に蓄積し、端境期に於ける飢饉狀態に備ふると共に、内國農家をして米の持越しの不利を自覺せしめんとするに在るが如し。頗る機宜に適したる處措なりと雖も、現内閣としては是れ以上に出づることは蓋し困難の事情あるべし。然れども吾人は當局に對して別に一考を求めたきことあり。他なし、米に對する眞正の標準相場を得んとするには、定期市場に於ける思惑賣買の跋扈を成るべく抑制するに在り。思惑賣買なるものは純然たる賭博行爲なるも、現在定期市場の相場を動かす者は、皆其の力の消長に由らざるはなし。而して正米相場は定期相場に跟隨して昂落するを常と(些の例外あるも)とするが故に、詮する所、日本に於ける主食物の相場は賭博に依りて支配せらるゝ者といはざるべからず。是れ國民生活の安定を得ざる主因なるを以て、爲政者は出來得る限り、其の弊害を除去するに努めざるべからず。さらばといつて、今日直に取引所を廢止すといふが如きは、出來ぬ相談なり。既に取引所を設けある以上は、絶對に思惑賣買を抑制することは、猶更不可能なれば、其處に何等かの方法を按出せざるべからず。止むを得ずば、之に一方あり。蓋し思惑に因りて多量の買占を爲すには巨額の資金を要す。而して其の資金はいふまでもなく銀行の供給に待つが故に、其の資源に或る制限を附すること雖も、其の活躍の範圍を大いに縮小せらるゝを免れず。吾人の記憶する所に依れば、昨年米騷動の前後、朝鮮に於ける米價は一時暴騰したりと雖も、其の後次第に低落し、遂に内地の相場に影響したるの事實は、總督府が朝鮮銀行に命じ、米の買占に要する資金の供給を制限せしめたるに因るものにして、其効果の顯著なる取締令などの比にあらず。若夫一般有力の銀行にして、此の方針を以て彼相場師に對するにならば、投機界弊害の三四分は之がために除去せらるゝを得べし。

金貸を本業とする銀行に向かつて、貸出に就て或種の制限を爲せと強ふるは、頗る無理の言なりと雖も、本來食料問題は國家的國民的にして、個人の利害以上に超出す。之れがために時に收用令を實用するの必要に迫ることもあるべく、或は國營に移すの論も起る譯なれば、如何に金貸本業の銀行にても多少の犧牲を忍び、公共の利益に貢献する所なかるべからず。又政府に於ても、眞正なる米の標準相場を得、國民生活を安定せしめんとするに意あらば、一般銀行に對し、米商の振出す手形等に就き、其の引受を拒絶し、或は之を制限すべき命令を發すべきなり。此の方面を閑却して、如何に調節に苦心するも、隨つて成れば、隨つて壞れ、到底功果の擧がるを見るべからず。特に昨今の如き定期市場の氣違ひ相場を矯正するには是より適切なる方法なしと信ず、知らず當路の所見如何。

列國海運趨勢(上)

日本は第三位を占む

前遞信次官 内田嘉吉氏談

這回の歐洲戰亂は即ち海上權の衝突から生じたとも傳へられてゐるそれと云ふのは所謂世界の海王と自負してゐた英國に對して統一後の獨逸は極力歐洲本土に覇權を占めんと劃策した其の當初に於いては只本土のみで海外には力を注がなかつたがビスマルクの世を去りてより漸次海外に注目する樣になつて進出機運は遂にカイザーをして『自國の發展は海外にあり』と迄唱へしむるに至つた此結果は端なくも海王を以て自任せる英國との衝突を見るに至つた此事は既に論ずる多くの人々に依つて唱道せられつゝある所で私等も同感である抑も海軍と海運といふのは甚だ密接なる關係を有してゐるもので海軍の勢力は必ず海運力の援助を俟たなければならない這回の戰亂に於て海運の世界の大勢に及ぼした影響は實に甚大なるものがあつた是れは既に世人の記憶に新なる處であると思ふが英佛諸國の是等に對する努力は亦多大なるものがあつた聽て獨逸が潜航艇を以て無制限に海運力の削減に努むるに至り遂に米國の參戰となり結局は獨逸の不利に歸したもの之れ迄に至る聯合國側の打擊は氣の毒に堪ねざるものがあつた所謂海運力に對する打擊は國に對する打擊である茲にて米國は參戰當初に於て八十億萬圓といふ巨資を投じて造船方の擴張及び船舶の維持に努めたのである英國は平時に於て百五十萬噸より二百萬噸の造船をなしつゝあつたが戰亂勃發と同時に他の物資の製作に力を削がれて僅に六十噸の造船力しかなかつた其爲めに英國海運の蒙つた打擊は一方ならず遂に再び之が擴張を計るに至つた是等を綜合して見ても戰爭と海運とは決して離るべからざるの關係を有してゐる事が明瞭となるであらうそこで我が海運力はと見るに我が國に於ては戰爭の度毎に長發展を見るに至つてゐる明治六年には僅に十六萬噸の船舶を有してゐたに過ぎなかつた然も其當時に於ては先づ發達せるものとして數へられてゐたがそれから日清戰役に至つては二十萬噸の增加を見て即ち三十六萬噸となつたが此時に當つて我が政府部内に海運擴張論が起り總て造船獎勵法案及び航海獎勵法案等が施行さるゝに至り大いに此方面に力を注ぐ樣になつた茲に於て始めて遠洋航路の開始を見るに至つたのである而して其の狀態は日露の戰役迄持續せられてゐたが愈々日露戰役に際しては亦一躍約三十萬噸の激增を見るに至つた即ち全力六千五百噸に及んだのであるそれから日露戰役後即ち明治三十九年には亦約五十萬噸の增加を見百三萬噸となるに至つた斯くして事ある毎に我が國の海運力は戰爭と多大なる關係を有してゐるといふ事は事實に於て證明せられてゐる其の後に至つて歐洲戰亂勃發迄は所謂平和的の發達を見てゐる即ち大正三年には五十萬噸に增加したが此の時に於ては既に臺灣及び關東州方面にも船舶の所持者を出すに至つたので其の總數は實に百八十萬噸に及んだのである即ち歐洲の戰前には以上の如く八十二萬噸の增加を見たが更に歐洲戰亂勃發してより休戰に至る迄即ち大正三年より大正七年の十一月にかけての增加噸數は汽船のみにて六十餘萬噸を算し即ち總計二百四十八萬噸に達するに至つた(東京支局)

有樂町より

東京支局

▲野田遞相閣下と云へば洸漾たるところに機鋒を包んで八面應酬のしたゝかもの殊にあの圖體で、先づ世の中に怖いものは無さ相に見ゆるが人には一敵、あれでゐて蜘蛛が何より怖い▲ある夜、門から閑を害き飛ばした訪問者を攫まへては鼻の穴をほじりながら長々と禪の講釋などをした疲れで肩が凝つて堪まらぬので按摩を呼んで揉ませて居ると▲流石にいゝ氣持になつたと見ゑてコクリ〳〵舟を漕ぎ出したが突然仁王樣の掌のやうな奴で按摩の頰をピシヤリとやつた▲面喰つたのは按摩でさては揉みどころでも惡かつたのかと恐縮して這ふ〳〵の態で逃げだしたが、御本人は相變らずコクリ〳〵やつてゐる▲醒てから按摩は何うしたこの事だから家人が所々で逃げて歸つたと言つたら『太いがつてゐ何うぢやろかい』とは豈夫に言ひもしなかつたが直ちに按摩、許に使を馳けて粗忽のお詫、よく〳〵聞けば按摩の顏が大きな蜘蛛に見ゑたのださうな

錬膽錄

獨園禪師

二笑生

◇明治五年、朝廷は敎務省を置き神佛を合併して、大敎院と云ふものを建てた。其の時、大敎院長に成つたのが、京都相國寺の獨園禪師であつた。◇其の頃は、排佛毀釋の聲が喧しく、往々自殺を以て、禪師の命を狙ふものすらあつたので、禪師の身上は非常に危まれた。中には禪師に逃避を勸める者すらあつたが、禪師は『法の爲めに死ぬるなら本望ぢや』と云つて、參徒三十餘人を率ゐ、悠然として瑞布の天性寺に入つた。◇或日、禪師が一寸外出やうとすると、五六人の壯漢が、突如躍り出て、禪師を取り圍み、殺氣凄い眼を瞬つて、獨園は何處に居るかと詰め寄つた。禪師は、靜かに佇立まつて『獨園は老衲だが何か用事でもあるのかい』と言つた。その氣味の惡い程落ち着いた、禪師の態度に、壯漢は、何れも氣を吞まれて、躊躇して居つた。何と答ふることも出來ずに、◇暫く經つて、一人の壯漢が、吾々は非釋敎徒であるが信者がある爲めに、吾々の願望が容れられぬ。就ては、貴僧の首を申し受けたいのだと言ひ放つた。驚くかと思つた禪師は、いよ〳〵平氣『何ぢや、ごんな大事かと思つたら、老衲の首が欲しいと云ふのか、いと易い事ぢや、早く切れ』と云つて、口邊に微笑を浮べて居る。壯漢等は覺わず、身が竦み、手も足も出すことが出來なかつたのみならず、軈て、恭しく低頭して其罪を謝し、倉皇として逃げてしまつた。◇恬淡として、生死を投げ出した、禪師の儀容には、猛虎を搏つの勇を以てしても、如何ともすることが出來なかつたのである。

本紙定價 一部金五錢 一箇月金七十五錢
廣告料 五號活字一行一圓五十錢
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直
印刷人 小川三之
電話番號 編輯局 營業局

媾和 … ン大統領、ロイドジョージ首相、クレマンソー内閣議長オルランド … に決定し共同珍田子 … 然るに … 子(第二)四頭會議の決議に依れば聯合國はオ政府承認條件の一として … 子は開戰以來今日に至る迄の聯合國 … 事的援助を與ふべし但し聯合國は … 政府承認條件にして …

▲經濟的開放

法制研究會編 試驗問題集 文官普通 判任見習 雇員巡査 日鮮人

發行所 京城本町 振替二〇〇〇 ウツボヤ書店

本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の應試者の爲めに大正元年度以降最近に至る迄の前記登用試驗問題を蒐集し多數の應試者をして試驗の概況及程度を知らしめ必勝の策を與へんと欲して之を編纂せるもの應試者諸氏の此書を通讀して其適否を研究せらるれば得る所尠少にあらざるべしと信ず ●菊半形紙數二百二十頁●定價金五十錢●送料四錢

賣捌元 京城太平通 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

大正八年新版 最新大東京圖 郊外番地入 富山房編輯部編

石版五回刷 縦三尺六寸横二尺六寸印刷鮮明美麗 軸裝定價壹圓四拾錢郵稅十二錢◎折本五十錢郵稅六錢

日に月に膨脹して止まざる大東京の現狀に鑑み、特に發展の目覺しき郊外に深き注意を拂ひ、詳細番地を記入し更に東京附近の詳密圖を附す一々最近の調査に基き印刷鮮明なる都市の模範たり ◎諸官衙銀行會社商店倶樂部旅館等必備の要圖なり

東京神田 富山房 振替五〇一

地方行政 廿七卷 六月號

國民教育改善の第一步 社說 / 地方財政の整理に就て / 地方制度に於ける選擧無效當選無效 / 農村政策の一大問題 / 地方吏員養成機關の設置を望む / 民力涵養と篤志家の使用 / 社會政策と購買組合 藤井主計 / 歸趨 渡邊博士 / 水力國有論 堀川淡水 / 日光杉並木の話 本多博士

毎月一日發行 一冊金二十錢 六冊一圓十五錢 十二冊二圓二十錢

東京 帝國地方行政學會

簿記 通學 寄宿 校外 私立日本簿記專修學校 東京

話の世界 創刊號 (六月一日發行)

▲マルコとワシカ 夏野芹馬 ◎奇事異聞 ◎八百の墮年祭 ▲山中寺の復讐 田中貢太郎 ▲延元物語 ◎名士逸話 ▲瑠璃鳥 遲塚麗水 ▲鳥盡し ▲雲居和尚 麻溪道人 ▲佛蘭西の小勇士 福士幸次郎 ▲講釋の通し矢 馬場孤蝶 ▲金の生る木 唐井木人

東京神田 日新閣

眼鏡類一式 寒暖計 ワレントン萬年筆 美術サック類 貴金屬製品

卸商 宮川大學堂 京城南大門通二丁目 電話長二九五九番 振替京城壹壹二九

講談雜誌 夏期增刊 一大事

面白き事天下一品

◆元寇の役 大奥村林鶯 ◆由比正雪 山川秀峰 ◆玉藻の前 松田青風 ◆梁川庄八 八幡白帆

元寇の役 押寄せ來る十五萬 悟道軒圓玉

由比正雪 將軍家の一大事 猫遊軒伯知

落語 天災 柳家小さん

落語 佃祭 三遊亭圓右

玉藻前 金毛白面九尾の狐 寶井馬琴

死ぬかと思つた記 森曉紅

梁川庄八 天下無双の豪傑 小金井芦洲

前越後 一大事 地雷火 窪田幹雄

江戸の大火 獄門の金藏 錦城齋典山

元祿怪異 吳羽の介の繪姿 水上藻花

萬人向きの好雜誌 定價金三十五錢 東京本町 博文館

商業登記

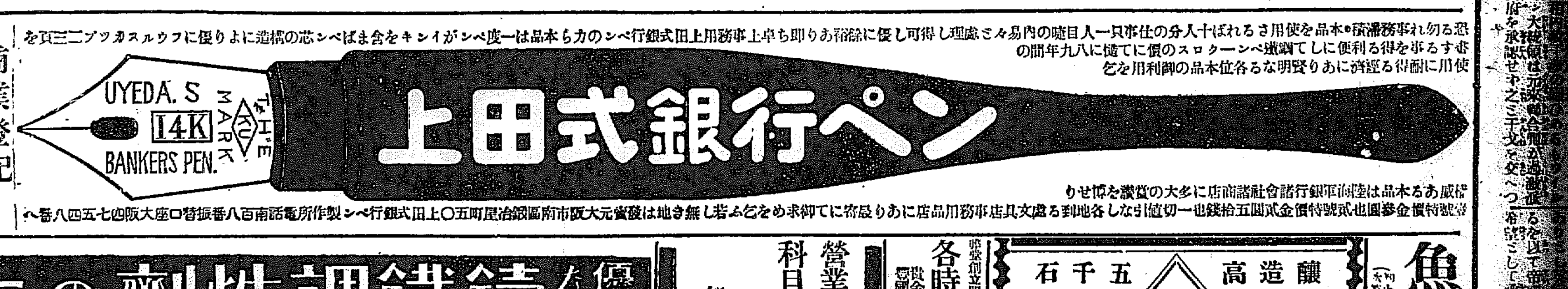
朝鮮皮革株式會社取締役缺員 中ノ島 大正八年五月貳拾參日就任 郡永登浦面堂山里百貳拾貳番地 右大正八年六月參日登記

京城地方法院永登浦出張所

商業登記公告

朝鮮大正物産株式會社(變更) 金五拾圓拂込ミ各新株ニ付 右大正八年六月五日登記

京城地方法院仁川支廳



恐る勿れ事務濫積●本品を使用されば十人分の仕事只一人一目の嗁の內に容易々々と處理し得可し優に餘裕あり即ち卓上事務用上田式銀行ペンの力ら本品は一度ペンがインキを含まばペンの芯の構造により優にフウルスカツプ二三頁を書する事を得る利便にして一ペンーグロスの價にて八九年間の使用に耐へ得る經濟的に適あり賢明なる各位本品の御利用を乞ふ

權威ある本品は陸海軍銀行諸會社諸商店に多大の賞讃を博せり

定價特製金參圓也普通貳圓五拾錢也一切値引なし各地到る處文具店事務用品店にあり若し無き地は發賣元大阪市南區鰻谷町五〇上田式銀行ペン製作所電話南百八番振替口座大阪四七五八四番へ御求めて乞ふ

優秀なる鑄鐵調性劑の大發見

▲鑄鐵界の一大福音

製品の優良と工場の經濟とは共に戰後に於ける鑄物界の一大生命也而して此の要求を充すは斯界の重寶なる本社技師長理學士彥坂氏發明の鑄鐵調性劑テンパー也

世界的大發見大發明

●テンパーの威力

一、鑄鐵中に有毒なる酸素の侵入を防止し尙存在するものを排除す

二、原料中より硫黃を除去し鑄物の『ス』を減少せしむ

三、鑄鐵中の鉾滓を除去し鑄物の靭性を增す

四、鑄鐵中の炭素の量を增し結晶を大ならしめ鑄物を軟かならしむ

五、熔解狀態に於て流動性を增し鑄物の製作を容易ならしむ

定價 一二

●今や斯界はテンパーの使用に一刻の猶豫を與へず

斯の如く偉大なる効力を有するテンパーは

特約店希望の方は御申込次第規定書送る

製造販賣所 東京市京橋區 内國殖産株式會社

魚釣具及投網 卸小賣 京城永樂町 吉備商會 電話三 振替京城三

釀造高五千石 品質醇良 天下唯一 齋藤酒造合名會社

明治二十八年創立 各時計卸商 貯金局製作御用 帝國火災保險會社第一代理店 京城黃金町二丁目 喜多金光堂 (電話一〇一五番)振替七八一番

營業科目 糸ひも類 刺繍用具及材料 造化用具及材料 摘細工用具及材料 裁縫用具及材料 袋物用具及材料 編物用具及材料 美術竹細工

御小賣商 京城本町二丁目明治町入 尾琴屋 電話一三九番

◇軍事行動開始と調印
＝ランツァウ伯の聲明＝

獨逸は聯合國陸海軍の行動開始さるゝに非ざれば講和條約に調印せざる可しと尙ランツァウ伯、ベルンストルフは聲明して曰く我等は講和條件が著しく緩和さるゝに非ざれば該條約を承諾せざる可しと（巴里電報）

◇獨逸讓歩を得
結局調印か

伯林より紐育に達せる電報に據れば獨逸は聯合國より二三の讓歩を得たる爲め結局講和條約に調印す可しと觀測され居れり（巴里電報）

◇獨逸襲擊開始か
六月末迄に調印せざれば

聯合國はリトランド及びリスアニヤに於る獨逸軍隊に一定の區域內に撤退すべき事を要求し最後通牒を送れり獨逸政府は內亂の惹起するを慮かり伯林に最も嚴重なる戒嚴令を布き集會を禁じたり巴里に於て信ずべき筋の報道によれば若し獨逸にして六月末に至るも尙條約に調印せざらんか聯合軍は直ちに西北方若しくは巴威方面より獨逸を襲擊し聯合國は聯合軍伯林占領迄講和を承諾せざるべし（倫敦電報）

◇獨逸の對案審議

大統領ウイルソン氏は三日ロイドヂョージ氏と共に獨逸の對案を審議せり午後四頭會議は獨逸の對案に對する回答に關し協議し小委員會の報告を審議したるが五大國代表會議は和蘭、白耳義國共通國境協定に關し白耳義との間に締結せらるべき協約問題に關し和蘭より任命せられたる特別代表者カルネック氏の意見を聽取せり（巴里電報）

◇完成航空案綱要

講和會議航空委員は航空規約の完成草案及小修正を要する附則に就き意見一致せり右條約は此の諸條に規定せる飛行機國籍及登錄國、國際的飛行機に關する一般原則氣流の價値飛行上の保證及び外國領土上の飛行に關する原則出發著陸若くは飛行の途中に關する規則乃至物品運送原則に關する規則附則中には事實上の細則を收めたり卽ち飛行機の地表天幕及び信號國際地圖地表氣流系報告稅關に關する規則之也（巴里電報）

◇對獨強硬回答

クレマンソー氏は獨逸に對し以後獨逸の通牒を接受せざる旨回答せり（巴里電報）

◇牧野男に博士號
オツクスフオード大學より

牧野男はパーシング將軍、パデレウスキー、ヴエネゼロス三氏と共にオツクスフオード大學より法學博士の稱號を贈られたり（巴里電報）

◇軍需品工場爆發

プラーグ來電當地に於る軍需品工場爆發し死者二名負傷者二百二十名を出したり（倫敦電報）

▲備考 プラーグは墺國ボヘミヤ盆地の中心世界一と稱さるボヘミヤ硝子の集散地

◇我管理區域決定

西伯利鐵道聯合管理會議にて烏蘇里線エフグニエフカ驛よりハバロフカ驛迄二百三十哩黑龍線ハバロフカ驛よりクエンカ驛迄約千七百哩の沿線は日本技術部の管理に決定し鐵道院技師野村良一氏部長として來浦し六月一日より浦鹽に本部を置き事務を開始せり（浦鹽電報）

◇露都へ食糧急送準備

米國食糧委員は發表して曰くペトログラードに食糧急送準備のため米國將校をバルチツク海沿岸諸港に駐在せしめたり若しペトログラードにして目下同地の西南方に活動しつゝある反過激派露國軍隊によりて占領せらるゝに於ては食料は直ちに同市に急送せらるべし現に滿載船若干隻蘭聘へ向け航行中なり（巴里電報）

◇世界最小飛行機
英佛間の飛行に成功す

世界最小の飛行機モスキート號は一時間半にて倫敦より佛國迄の飛行に成功せり同機は二十馬力機の長さ十三呎なり（倫敦電報）

◇南方讓歩主張

南方代表派中、和議に對する南方の讓歩を主張するものあれば時局は急轉して近く和議再開さる可し（上海電報）

◇廣東舊議員引揚

廣東舊國會は和平統一に障碍ある爲め多數議員は上海に向け引揚げたるが殘留議員は二日以內に廣東退去を命ぜらる可し（上海電報）

◇上海全市閉店

北京學生多數拘留の報に接するや上海學生憤怒し示威大運動を爲せる結果五日午前十時より午後二時に亘り上海市の支那商舖は全部店を閉ぢ六日より市場も休業するに至り人心恟々として不穩の氣全市に漲れるより共同居留民會は五日附を以て日本品ボイコットに對する煽動的行爲ある者は嚴罰に處する旨告示したり尙日本人小學校に於ては五日午後休校して萬一を警戒せり（上海電報）

◇支那と列國

五日英國公使は徐總統に謁見し和議再開南北統一の第二次勸告を爲せり第一次の勸告は日本之が主動者たりしも今回は米國主動的地位に立ちたり次に戰爭後列國は態度一變し事每に日本を牽制せんとする兆あり今回の勸告も列強殊に米國が日本を壓さへ支那に飛躍せんとする雄圖の一端を暗示するものなりとの觀測する者あり（北京電報）

◇勝田氏渡歐延期

勝田前藏相の渡歐は病氣の爲め無期延期となれり（東京特電）

◇關東州裁判令改正
大連に支廳設置

五日勅令第二百七十二號にて關東州裁判令を改正し同時に同州裁判事務取扱令を改正し何れも十日より施行の旨發表せり本令公布の結果大連に地方法院支廳設置さる可く右は從來行政官に依りて爲されたるものを全部司法官をして之に衝らしむる事となせり（東京特電）

◇勅使御差遣
德大寺公邸へ

大勳位德大寺實則公爵薨去に就き畏き邊にては公多年の勳勞を思召され葬儀前日勅使として侍從を同邸に御差遣優渥なる誄詞を賜はる可しと洩れ承はる（東京特電）

◇後藤男
倫敦に向ふ

後藤新平男は六月四日紐育發倫敦に向へり（紐育電報）

◇豆鴨兩江拓林會社計畫

豆滿江及び鴨綠江上流の無盡藏なる森林を開拓す可く東京の實業家渡邊嘉一氏外一二名發起し資本金三千萬圓の兩江拓林株式會社を計畫出願せるが右會社創立の上は清會線茂山驛を基點とし茂山郡を横斷し吉州に出で更に咸南惠山鎭に至る鐵道敷設の豫定なる由（清津特電）

◎內鮮の關係（上）
龍山 某有力者談

內鮮目下の關係は之を喩ふれば得心未だ充分ならざる婦人と性急に婚せしが如く而して婚後も之に對するの仕向けも未だ十分ならざる所あり元々氣乘りせざりし

▲新婦は不平 怨嗟日に募り加ふるに離間中傷甘言を以て之を誘惑する者も其間に現はれ一面幾分所謂新しき女の思潮にさへ感染し來りたるを以て新婦と新郎との間は感情の疎隔益々甚だしく婦は終に離婚を請求して紛糾せる間著中に在るもの是實に內鮮關係の現狀なり郎にして今少しく辛抱し耐十分の實意を以て之に對したらんには或は婦自ら進んで婚を求めしやも測られず假令然らざるも郎の申込みに對し之を快諾せしや殆んど疑ひ無き所なり郎の性急なる

▲若氣の至り とは云へ惜しき事を仕出來したるものなり（他の之を誘拐せんとする者假令多少怨すべき內情はありしにもせよ）況んや婚後之を遇するの道も到らざる所あり終に今日の悶著を見るに至りしは返すがへすも殘念の次第なり併し婦の此離婚は其將來の爲め果して眞實の幸福を招來すべきや否や去つて果して何を爲さんと欲するや尙は浦若き婦人の身を以て終身獨身の生活を爲さんと欲するや將之を爲すの資力ありや假りに之を爲し得るの資力技倆ありとするも

▲小さき門戶 に微々たる一家を立て賃仕事や洗ひ張りの間に其永き未來を送らんとは果して其身の眞實なる幸福なるべきや否や假し一時の意氣地より心に染まざる新郎の家に在らんより如何なる艱難辛苦も辭する所にあらずと寧ろ去つて一生獨身生活に甘んぜんと言はん乎婦の決心は假し永久に堅固不拔なりとするも四圍の狀況は果して之を許すべきや否や五年十年の間はイザ知らず

▲永き其一生 の內には他の亂暴なる靑年輩は來つて之を制壓倒するが如き事はあらざる可く過去四千年の歷史は之を語りて餘りあり然らば現夫家を去つて他に再緣せんか果して何れの處にか歸がんと欲する西隣に一郞あり田地も廣く資產も多く治め樣次第にては相應の年收あるべきも家政は紊亂家庭は甚だ不和にして一家の財さへも疑問の裏に在り之れに歸ぐも新婦の爲め將來の幸福は極めて疑はしく次に北方に他の一郞あるも家政の紊亂家庭の反目は西隣の夫よりも甚だしく父子相殘ひ兄弟相鬩ぎ慘狀言語に絕し父祖

▲傳來の采地 は四分五裂七顚八倒一家の浮沈其歸著する所を知らず且つ郞は元異人種にして性情家風と共に大いに婦の實家と異なれり是れ亦決して理想的の緣組にはあらざるなり最後に殘れるは遠く大洋を隔てたる白哲長軀の一美丈夫なり氣前も好く人品も好く活潑有爲加ふるに巧言令色甚だ社交に長じ殊に巨萬の富を有すと婦が意中の人或は此邊に存するならん乎是れ一應尤もなり

◎コ將軍と西伯利
戰跡踏破＝露國の現狀＝オムスク政府＝朝鮮の思ひ出

參謀戰史見學團長 武藤少將の談

六日夜龍山を通過せる武藤少將を水原に出迎へ列車中左の談を得たり

今回の旅行は單獨にあらずして參謀戰史見學團二十名を率ゐ主として奉天會戰の跡より哈爾賓間の視察を遂げ更に哈爾賓より烏蘇里線に出でハバロフスクを視察し漸次南下して昨年八月第十二師團が

▲砲火の洗禮 を受けたるクラエフスキーの戰跡を踏破し浦鹽より乘船歸京すべく豫定の日程は約一箇月なり予は今春オムスクより歸りたる事とて最近の西伯利事情に精通せず情報に依れば聯合國はオムスク政府を承認する事に略決定したる由混亂錯雜せる露西亞の現狀を打破して健全なる大露西亞國の復興を見る迄は猶幾多の波瀾幾多の變遷あらむも或はオムスク政府を基礎として成功するやも知られずオムスク

▲政府の首班 コルチヤツクは海軍武官出身なるも政治家としての手腕見る可きものあり其の右黨の領袖として群雄を威服し着々目的に向つて勇往邁進しつゝある其の手腕の凡ならざるを證するに足るべし西伯利の現狀を救濟するには斯る鐵の腕を有する人物の必要なるべし要するに露西亞の復興は大人物の出現に俟たざる可からず今春上海に亡命したるアクセンチーエフは左黨の領袖にして主義に於ても全くコルチヤツクと相反す水の油に交らざる又止むを得ざる可し予は朝鮮とは緣故極めて深きものあり二十七八年戰役には現朝鮮總督

▲長谷川閣下 の混成旅團に屬し征途に隨ひ龍山に久しく駐まりし事あり當時予は任官勿々の一少尉なりき又三十七八年戰役にも長谷川閣下の參謀として近衛師團に屬せり八道の山川草木何れも昔知の感あり龍山の發展は最近殊に眼覺しく戰役當時の面影を偲ばむと欲するも今や全く得べからず又鐵道沿線樹木鬱蒼として翠綠窓に滴たらむとせる誠に造林の計畫宜しきを得たるものなる可し今次の旅行慌ただしき爲め長谷川總督に親しく見ゑて敬意を表する時間を有せざるは誠に遺憾とする處なりと云云

◎朝鮮商銀增資
倍額決行內定

朝鮮商業銀行にては業務の發展支店の增設に伴ない現資本金一百萬圓にては不足を感ずるに付倍額增資問題起り今春來倍額二百萬圓說と三百萬圓說あり理事者に於て考究中の所確實なる發展を遂ぐるためには此際一應二百萬圓とし更に第二的の擴張策を講ずるを可なりと認め倍額增資に內定せしが多分七月中旬の株主總會に之れを附議しその決議により政府の許可を受け實現を期すべしとの事に付第一回拂込みは八月下旬又は九月上旬となるべし

◎商議會頭打合

八日午前十時より東拓樓上に於て全鮮商業會議所臨時會議を開催し西海岸定期航路開始の件を附議すべく六日同所に各商業會議所會頭出席打合せをなしたり

◎新機關車使用期

京管局にて米國より購入組立中の貨車專用ミカド型機關車は試運轉の結果頗る良好なりしを以て來る十三日迄に全部十二臺の組立を終り次第直ちに之を京義線に配置し本月十四日より使用を開始し大に輸送力の增加に努むべしと

◎印紙收入概況

八年度四月分印紙收入は六十四萬三千七十一圓にして前年度同月の收入に比すれば十八萬六千三百八十一圓の增收なりと

◎大內侍從武官

武藤少將の率ゐる參謀戰史見學旅行視察の爲御差遣相成りたる侍從武官大內義一少將は七日夜七時五十分列車にて來城直ちに奉天に向ひ戰史見學の一行に加はるべしと

◎山梨中將入城

陸軍次官山梨中將は滿洲方面より來城に就き軍司令部より山本參謀出迎への爲五日夜出發安東縣に向ひたる由

◎武藤少將通過

別項記の如く武藤少將は參謀戰史見學團二十名を率ゐて六日夜七時四十五分著列車にて龍山驛に下車し出迎への大野參謀長軍副官と共に大野參謀長官邸に入り同夜九時十四分龍山發北行したり

◎佐藤博士病狀

四日龍山衛戍病院に入院せる軍醫監佐藤博士の病狀は森安博士の診斷にて窒扶斯と決定し尙は發疹性の疑ひあり嚴重警戒し居れりと

◎工作會社出願

龍山居住田川常治郎氏外七名の發起に係る龍山工作株式會社は一日附出願したるが同社は現今の田川鐵工所を擴張し資本金二十萬圓の株式會社とし鐵道用品の製作並に鐵工、鑄工の製作及び其の販賣を營む由

◇井上博士逝去
大連本願寺に於て講演の際突然壇上に倒れ人事不省に陷りたるより別室に

滿洲及南支那巡錫の途にありし井上圓了博士は四日夜大連著五日午後八時半より大連播磨町本願寺に於て『戰勝の結果と戰後の經營』と題する講演を爲すことゝなり、演壇に立ち愈講演を爲さんとせる際博士は直ちに應急手當を加へ滿鐵より戶谷博士來診數回注射を爲したるも其甲斐なく遂に六日午前二時滿鐵分院にて永眠せり（大連特電）

◎南大門乘降客

五月中南大門驛に於ける乘車人員は六萬四千七百餘人にして降車人員は六萬七千百餘人なりしが之を四月中の乘降車人員に比較すれば乘車人員百八十餘名降車人員三百餘名の增加を示せり又同驛に於ける五月中急行券出札高は二千八百三十一枚にして其內譯を示せば一等百九十枚二等六百四十六枚三等二千一枚なり

◎滿洲商業增築

安東縣滿洲商業學校は業務發展に從ひ現在の家屋にては狹隘を告げたるを以て近く市場通りに面したる隣接地水野雜貨店の敷地を買收し增築工事をなす事に決定したりと

◎村田素一郎氏送別會

朝鮮鐵道管理局に於ては前朝鮮總督府鐵道部務課長村田素一郎氏の送別會を六日午後七時千代本に於て開き參會者五十有餘名津田鐵雄氏一場の挨拶をなし村田氏の答辭あり非常の盛會なりき

人事消息

▲弘世助太郎氏（日本生命保險專務取締役）入城中の處六日朝出發平壤へ
▲中西嘉太郎氏（同社營業課長）同上
▲大庭讓太郎氏（同社京城支店長）同上
▲村田素一郎氏（前總督府鐵道部課長）來る十日頃當地出發福岡縣八幡町前田九州製鋼會社に入社すべく假住宅は戶畑町中原安川邸裏山の上俱樂部なりと

鳥瞰錄

對獨講和會議に對しては怒る者もあれば種々の風說を流布する者悲觀樂觀敵味方の兩國に思ひ〳〵の批評や討論をやつて居る▲獨逸の週刊雜誌ツークンフトの發行者として獨逸操觚界の第一人者として凄味と皮肉とでも歐米に鳴り渡つて居るマキシミリアン、ハルデルの話は頗る振つて居る▲晋佛戰後の講和談判の時佛の委員ジュールファーブルが昂奮して少し許り氣色ばんで聲高にやり懸かると▲之れを見たビスマルクは直ちに獨逸語で話し出したがファーブルの獨逸語を一言も知らぬ事はビスマルクは百も知つて居る筈だから一同がビスマルクは變な事をする哩と互に顏を見合せて居た▲するとビスマルクは『吾輩とても佛國の全權以上に叫喚にやる必要はない』と一本嚴しい處を參つて佛國委員の面をズーツと見廻した▲當時と今日の佛國の得意と失意は全く正反對である五十年前條件の苛酷を稱へて頻りに怒號する佛國人の空威張もビスマルクには馬の耳に念佛だつた▲若しビスマルクに今日の獨逸を見せだならば獨逸人は少し威張り過ぎてると言ふのだらう▲ハルデンは皮肉つてゐる▲彼の皮肉は頗る辣腕なもので前獨植相デルンブルヒが若し獨逸の思ふ通りに講和が出來ねば寧ろ開放してボルシエウエキを迎へ入れる許りだと言つたのに對して▲獨逸の門戶を開放するよりも差し當りデルン君がグリューネワルドに持つて居る彼の立派な別莊の門戶を開放して貰つた方が有り難いと▲斯う云ふ手合にかゝつては堪まらぬテ

◎對亞貿易逆調 [illegible]

◇大阪株式（前場） [illegible]

神戶期米 [illegible]

（寄安跡爆發） [illegible]

▲六日後場 [illegible]

法人及商業登記公告

商號、東昌號。營業ノ種類、綿糸布織物雜貨輸出入貿易。營業所、京城府鍾路四丁目百五拾參番地。[illegible] 右大正八年六月[illegible]日登記 [illegible]

右大正八年六月四日登記

右大正八年六月貳日登記

京城地方法院

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二三七、二九〇九番

◆開店二週年自祝記念として
六月七日、八日、九日の三日間
サッポロビール大特價半額（ビール出前は從前通り）
西洋料理 京城旭町三丁目（電話二〇九六番）
大正バー

眼科專門
京城若草町
金井眼科醫院
新築落成 入院隨意 日曜祭日午前中
（電一五五六）

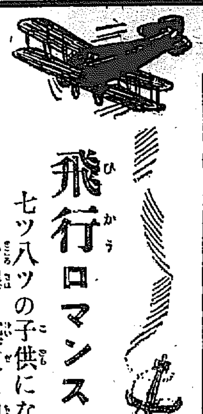
…を示し一月以降四月末累計に於ては前年同期間に比し輸出は四千七[illegible]八百七十四萬圓、露領亞細亞二千二百二十七萬圓なるに對し輸入は七千四百八萬圓、關東州二千三百六[illegible]四百八萬圓、印度四千六百卅三萬圓、支那二千[illegible]百九十二[illegible]

（左）御參拜の李鍝公殿下　（右）御親戚の海明君

李埈公三年忌法會

◎故李埈公 三年忌法會 妙心寺にて執行 李鍝公御參拜

故李埈公殿下の三年忌法會は六日午後二時より長砂洞妙心寺に於て執行されたるが折柄の五月雨に堂内の香煙いと重々しく壇上の位牌を包み讀經の聲哀しく漂ふ折て嗣子李鍝公殿下、海明君、李埈公殿下の第一姉君、同第二姉君の順序にて禮拜燒香あり引續き李埈公家の關係縁故者一同各々燒香を終り極めて嚴肅裡に法會を了りたるが當日は國分李王職次官を始め李恒九、黑崎、末松の各事務官其他多數の參詣者あり極めて盛會なりき



飛行ロマンス(6) 七ツ八ツの子供になる 所澤の藝妓は仲裁役 某飛行將校談

所澤にて

元來飛行家になるとどうしたものか皆無邪氣になる、所澤等で飛行將校の日常を見給へ、丸で子供と同じものさ遊戲に事を缺いで雙六や歌留多に喜々として居る、是等はそれでもまだ〳〵大人らしい内だ、甚だしいのになると子供等がよくやる〳〵

◇行軍將棋を やつてヤレ大將だの中將だのといつてキャツ〳〵と騷いでゐる、そのいたいけな樣ときたら手も足もつけられたものじやアない、金の欲しくなる事もなければ著物の著たい考へも起らない、今の世の人等に言はせたなら『そりやア尤もだ明日が日も分らぬ命だもの』と言ふだらうが決して明日死ぬかも知れない命だから金も欲しくない著物も著たくないといふ樣なそんな事じやアない、若しさうだつたら

◇誰が飛行家 になるものか、命の惜しいのは飛行家でも普通の人々でもちつとも變つた事はないさ飛行家だからといつても親もあれや子もある同じ人間じやアないか命の惜しいのは人情だよ、明日が日もわからぬ命といへば只飛行家の命だけじやアない誰の命でも明日はわからない即ち明日をも知れぬ命だからといふ譯ではないが

◇着物も金も 欲しくないと云ふのはそれだけ邪氣がなくなるだけの事さ、それやア見給へ、飛行機に乘つて飛び上つた時等は丸で天人にでもなつた樣な心持ちがするからね、俗に離れてるよ確かに……その代りに飛行機から下りて下界の人々の中に交ると何だか無茶に氣が大きくなる、是は私だけではないかも知れない、所澤等にゐる將校は特に其筋でも

◇寛大に見て ゐる故か知れないが飛行機から下りて來た時等はそれは〳〵馬鹿に氣が荒い、而もどういふものか飛行家には大酒家が多い、飛行が濟めば祝賀の飛行の將校等は始終酒をあほつてゐる、そしてよく喧嘩もする、兄弟の樣に前は親ひといふ樣な調子で飛行にしてゐるものでも一二杯始め出すと忽ちやり出す、こいふ風で所澤の藝妓は是等の仲裁役だ、それで仲裁の

◇出來ない奴 だつたら所澤の藝妓は勤まらぬとされてゐる、仲裁だつてちつとも六ケ敷くはない高が子供の喧嘩よりもつと〳〵易いのだから其の喧嘩の原因を聞いたなら恐らくどんな人でも吹き出すだらう、然し飛行家になれば皆こんなに大酒家になつたり喧嘩屋になつたりするといふのじやないよ、是れは皆無邪氣になり過ぎて騷ぐ結果だらう、兎に角飛行家になればどういふものか皆邪氣が失せてしまふ、七ツ八ツの子供と同じになる、是れら飛行家の一德だらう（東京支局）

◎四年間に 五百頭の 狂犬が發生

恐るべき狂犬の發生數に關し警務總監部衞生課に就て聞くに朝鮮全道に於ける大正四年から昨七年迄の年平均の狂犬發生頭數は五百七十三頭といふ驚く可き數を示し居れり今之を年別に見る時は大正四年三百八十七頭同五年五百五十二頭同六年六百四十三頭同七年七百六頭なり而して客年中に於ける發生狀況を月別に見るに最も多きは五月九十八頭六月七十六頭七月八十頭等にして最も少きは十二月の二十九頭一月の三十九頭にして氣候の關係が誘病に或種の交渉を有し居る事は明かなり本年は今日迄の處毎月六十頭内外の發生を見たりと因に狂犬に咬傷されたる際の注射治療は本年四月一日より從來各道警察署に於て無料にて施行せしものを有料となしたるが一人前四圓にして十七日間引續き注射を行へば全治容易なりとの事なり

◎大相撲紛擾 解決す 東關は廢業

友綱出羽海の調停は岡警視總監の肝煎りにて五日夜料亭常磐にて双方會見芽出度く成立せるが東關は愈々廢業したり（東京特電）

◎無線電信は 近く竣工 普通電報は取扱はぬか

◇新龍山總督官邸の東方丘陵に過般來新築中の陸軍無線電信所は其後着々進捗し既に三百尺の電柱一本だけは建設を終つた、他の一本は一兩日中に着手する相であるが何しろ八本の木柱を繼いで高さ三百尺、天空を摩する高い柱を組立てるのだから非常に手數がかゝるらしい

現場に工事の監督をしてゐる一工兵將校は『工事が少し遲れた氣味であるが豫定は廿日竣工であるから百方工事を督勵して廿日迄には是非建設を終り通信を開始したい考へであります』と語つた、猶聽舍の方も盛んに工事を急いでゐるから廿日頃には出來上るであらう、有線電信の輻湊する此頃遞信當局は此無線電信によつて一般通信を希望するかも知れぬが陸軍としては一般に開放するか何うかは未定であると

◇乳兒と脚氣 飲んだ乳をば吐き戻す 聲が嗄れたらもう最後 母親は何うすれば好いか

◆梅雨が近づくに從れて又怖るべき脚氣の季節に入らうとして居る、脚氣は青葉若葉の頃から紅葉の色づく頃迄にかけて最も罹り易い病氣であるから誰しも用心しなければならない中にも、殊に乳兒を持つた人は細心の注意を拂はなければ不可ない

◆何となれば母其人ばかりでなく乳兒にも其難を及ぼし生命を奪はれるに至るからである、之を乳兒脚氣と云ふ

◆嘗て一度でも脚氣の經驗のある人は少しでも兆候を感ずると直用心をするが未だ無經驗な人は其儘尙乳房を與へて顧みない中に刻々と危險が迫つて行く

◆そして漸く心づいた時は既に手遲れとなつてゐるなどは常に見る處である

◆乳兒脚氣の初期兆候は青味を帶びた下痢をし次では飲んだ乳を吐き戻す樣になるそして段々に活氣がなくなつて夜も泣や顏がむくれる樣になり聲が嗄れて來ると最早や最後である

◆併し此病氣の特徴は之までになつても發熱しない、熱さへ出なければ病氣でないと思ふ素人であるから稍もすれば初期を麼しろにして愈々危險に自ら望む譯である

◆されば乳兒の便に青味を帶び乳をもどす樣になつたら絕對に乳を退けると共に母も子も醫師の診察を乞はねばならぬ

◆さて次に母其人は醫藥を執る外身邊の注意として濕氣を避け努めて乾燥した空氣に接し便通をよくする樣に留意する外食物も消化よく油物や刺戟物を排して淡泊な物を執る樣に心がけ、便通の爲めには小豆麥飯を食ふがよい

◆其他新鮮な果物も便通を助ける中にも西瓜が一番よいとされて居る、西瓜糖でも結構だ、併し體質にも依るからなるべく其時醫師の指圖を待つが安心である。

◎暗から暗へ葬られた 洪國婦人國有令 大臣の家族喧嘩から

洪牙利のレニンを以て知らる、首府ベラリンが過激政府を樹立した當時のことである同國に於ても露國に倣つて婦人國有を斷行すべく決心し同令の草稿を既に

▽印刷局の 手に廻して居たが不圖したことが動機となつて沙汰止みになつた夫はベラリンが其後に至つて言明したやうに同令の人道上恐るべき罪惡であるが爲めではない大に盜もあり庇もある同政府は閣員は多く青年政治家であるが其一人たるウエルテルと云ふが

▽妻と義母 とを相手に晩餐の卓上に於て『一體婦人は今後どうなるのです』この間に答へて『將來は婦人も解放せられる勝手に良人を選び得ると同時に良人を放棄することも出來る結婚生活に適せぬと云ふことを申し出づれば所定の用紙を下附せらるべく之れが料金として

▽五六錢拂 へば好いのだ』と云つたので尙ほ妻女と其母は根掘り葉掘り問ふ内に男子にも同樣の權利があること其場合に於て國家は子女の教養を負擔すべきが故に父も母も子供に對する義務と責任を免れると云ふことが判つたので『それでは貴方は明日の日にでも私と離緣して

▽仇し女と 結婚しやうと仰やうですね』と若い妻女が問へばウエルテルは『法律の旨趣は全くさうだ』と答へたのでサア大變妻女と義母が怒る泣く叫ぶ恰るの小活劇が演ぜられて女等は終にウエルテルに對し『全力を盡して此法律の實施を防止すべく若し出來ぬとあらば自分等は今此家を

▽立ち去り 他の諸大臣の妻女、母、義母を語らひて一騷動起す』と迫つたウエルテルは最も圓滿な愉快な家庭を造り妻女は殊に美人であつたから『自分の勢力の有りたけを盡して同僚を動かすべく尙自分の機關紙、人民の聲を通じて反對の聲を擧げよう』と約束するの餘儀なきに至り首相ベラリンを始め他の閣僚を一人一人

▽電話口に 呼び出して相談したが話が意外に容易く纏まつたが最後に印刷局長を呼び出し婦人國有令の校正不要、鉛板湮滅を命じて此法律はつまり暗から暗に葬られたさうだ序に報じて置くが露國の同法は依然百出實行不可能と相聞が傳へて何うやら之れも廢止せられたらしい

◎二つの戀 坪内士行氏と雲井浪子 氣の毒な國子孃

目下帝國劇場で梅蘭芳以上に滿都人士の人氣を集めつゝある寶塚の少女歌劇の女王雲井浪子が愈々本興行を限りに引退し寶塚に在る坪内士行氏と結婚する事は公然の秘密となつた併し士行氏は坪内逍遙博士の嗣子であるあの

▽道學的な 博士が抱月須磨子の戀に怒つた手前に對して果して之れを承諾するであらうかこは一部の人の問題であつたが元來博士の主義として『人は青年に達したる以上は絕對に干渉すべからず』この意響は飽くまで貫くらしく現に其前士行氏を慕ひ遙々萬里の波濤を渡りて愛人ホームス孃が來た時も一切

▽知らぬ顏 であつた位で二人が三年町の佐藤別邸に新しく戀の營みを開くホームス孃のために麗しいベッドを贈つた程一面には粹にさばけた博士だから勿論此度にても無干渉であると共に嗣子を廢すやうな事もあるまいホームス孃は或る若い米國人と不義を重ねた上三下り半を貰つて歸國したので現在は桑港の珈琲店の給仕女となつてゐる斯くて

▽愛人を奪 はれた士行氏の悲しい胸の鏡に映つたのが自分の敎へ子同僚の雲井浪子であつた浪子は目覺めるやうな美貌の持主ではないが身丈がすらりとして柳を思はすやうな姿唄や踊りよりも芝居が得意で男優の一人も居ないあの劇團の中にあつて立役を勤める異彩それが早くも士行氏の心を惹いたのであらうそれにしても

▽可憐しい のは一代の蕩兒鹿島清兵衞と名妓ぽんたの仲に生れ坪内博士の令孃として育てられたくに子孃である親讓りの美貌に舞の手は共に比類ない上に成女學校に在學中はいつも滿點に近い成績を擧げたくに子孃であるあらゆる點に一つの難のないくに子孃が人も許し我も許して二世を契ると密に思ひ決めた士行氏を

▽二度迄も 他所に見ねばならぬ運命とはされど今や降る樣の縁談に對して博士は嚴正に注意して幸よかれの婿選み、餘念がないと云ふから軈て金屏裡に映る其の花嫁姿を見ることも遠くはあるまい（東京）

◎大金拐帶犯人 逮捕さる 京都に於て

滋賀縣生れ當時安東縣市場通り七丁目渡邊呉服店員小林章一郎（二一）は五月十二日新義州支店主任木下孝治の私印を僞造し同人の振出した本店主人渡邊玄彌の裏書にて二千圓の約手を振出し十四日滿洲商業銀行に至り割引にて現金を受取り十六日は例の通り得意廻りに出づると騙にて店を出で携帶の品物は某支那人宅に預けたる儘行方を晦ましより其筋に屆け出で各方面に捜査照會中の處六月一日京都五條署にて同人を逮捕せる旨安東警察署に通報あり即時一件書類を京都五條署に廻送せり（安東特電）

◎空氣銃を窃取

原籍山口縣當時京城明治町瀧川銃砲店雇人國井誠（一八）は本月三四兩日に亘り同店の空氣銃三挺を窃取入質したること判明六日本町署より檢事局へ送られたり

◎蔚山の降雹

五月二十四日午後四時頃慶尚南道蔚山に約十分時に亘り直徑八分大の降雹あり附近の作物特に收穫期に近づける麥作に對して被害尠からざる見込也

◎新郎新婦

滿鐵京城管理局囑託たる丹羽清次郎氏次女富士子孃は[illegible]氏夫妻の媒介に依り八幡市製鐵所在勤工學士小川潤次郎氏と婚約整ひ來る十四日小倉市に於て華燭の典を擧ぐる由

□噂の噂

▲四日龍山新師團の開廳式に參列した顯官連の間には[illegible]店なしつらつた後丘の緣蔭で盛んに[illegible]の交換が行はれた▲國分次官、荻田局長、前田大佐、工藤山口兩課長や裁判所軍人連も打交つて此[illegible]氏の[illegible]頃日得た[illegible]人揚文瑕の話が仲々の評判であつた▲荻田局長はかねて[illegible]である[illegible]も頻りと國分次官に懇望して居つたが次官も遂うく[illegible]して然らば僕が君の孰れかが退官又は轉任して京城を去る時には讓る事として漸く[illegible]議し▲局長も先づ希望の幾分を達した者として妥協が成立したのは兎に角局長近來の成功であらう

◎雨か、風か 戰期は迫れり 龍山原頭の大試合 全鮮の好球兒は熱狂して戰の日を待てり

釜軍先發隊 七日夜入城

既報の如く北上して京城軍と干戈を交へ覇を爭はんとする釜山野球軍は既に意氣天を呑むの慨あり同軍幹部三名は本社釜山支局長同伴七日朝釜山を出發し七日夜入城先發隊として諸般の打合準備等をなす筈其他の全員は西村監督統率の下に坂田、小林等の野球協會元老、應援團一行百餘名と共に八日朝京城に入り戰場に臨む筈である同業釜山日報社は奈良崎谷兩記者を朝鮮時報は某氏を特派して此壯烈なる大試合を滿天下に紹介すると云つてゐる釜山軍の陣容は大體既報の通りであるが或は選手の守所に一二變更があるかも知れない

優勝軍へ 大銀盃 本社から寄贈

當日の覇者へは本社から優勝銀盃を寄贈することになつた高さ約七寸の大銀盃でなか〳〵立派なのである

兩軍顏合せ 場所は本社樓上來青閣

當日釜山軍は入城すると直ち旅館に於て休養する、午前十時京城釜山兩軍戰士は本社に參集し樓上來青閣で加藤社長の挨拶を受け『顏合せ』を濟ました上午前十一時本社出發競技場に赴き入場式を擧げた上兩軍交互に猛烈な練習をやる

蓆旗を打振つて 猛烈に聲援する京城記者團チームの計畫 見物は何萬人でも收容が出來る

本社が此壯圖を發表すると共に全鮮の好球兒は勿論ボールを知ると知らざるとを問はず一齊に沸き立ち將に白熱的興味を注いでゐる釜山の應援團は既に百里の山河を越えて來ると共に總督府、朝鮮銀行は各々內輪から戰士を出してゐるので自然力瘤の入れ方も亦格別、或は檄を飛ばし同志が糾合して當日は熱烈な應援をやる筈である又新しく出來た京城記者團チームも全員蓆旗を打振りながら其本領たる意氣縱横盛んな聲援に努める相である、更に東洋協會專門學校を始め各學校野球選手、同團體亦總員を舉て京城軍に聲援する事になつてゐる

競技場は新龍山電車終點から鐵道公園の北側を通つて京元線に沿うて青砂の舖れてゐる野路を行くと新築の陸軍無線電信所の高い柱が見ゆ廣漠たる新練兵場が眼前に展開される競技場は此中央獨立樹の附近である夏草の茂つた丘陵が丸く三方を圍んで涼風を吹くが自由に流れるので選手も觀衆も快い場所である、グラウンドは龍山司令部より使用許可を得て本社が特に急設したものである、觀衆は何萬人でも收容が出來るが學校團體等に對しては特に便宜を圖る筈であるから觀覽希望の向きは七日正午迄に本社に人員と監督者とを知らせて頂きたい

野球競技場案内圖

下關期米特電

仁川期米 六日後場

早耳にせし因店より猛烈に買進み現せはマバラ筋の[illegible]商相場を演じ[illegible]するにおらずやと觀測せらる

購買入札
半紙白紙四十萬枚外十四點
右詳細ハ本日ノ本府官報ヲ見ヨ
大正八年六月七日
朝鮮總督府

購買入札
綿糸生四十二番双子貳百五外三點
右購買ス詳細ハ六月七日以後ノ朝鮮總督府官報ニアリ
大正八年六月七日
京畿道

一、石首漁網 四張
此入札保證金ハ各自見積代金百分ノ五以上
右賣却ス入札希望者ハ龍岩浦警察署ニ就キ入札人心得書契約書案及現品熟覽スベシ本月十七日限リ當署ニ入札スベシ即時開札ス
此契約ハ小濱龍岩浦警察署長朝鮮總督府警視任ス
大正八年六月七日
龍岩浦警察署

外交員募集
◎募集要項
一、内地人ニシテ年齡三十歳以上ナルコト
一、中等程度以上ノ教養アリ身體強健ナル者
一、商議巧ニシテ凡人格アル者
◎報酬條件
一、月收金百圓以上
希望者ハ最近撮影ノ寫眞、戸籍謄本及本人自筆ノ履歴書ヲ送付アリ度シ
但周密ナル調査ト嚴格ナル選擇ヲ要スベキニ付採否ノ決定ハ約一ケ月後ト御了解セラレ度シ
京城本町五丁目
京城印刷所

商業登記公告
[illegible]
大正八年六月[illegible]日
京城地方法院仁川支廳

黄金町長谷川町入口
（電話二九一二番）
田村質店
商品擔保便利取扱

京日案内

古ミシン高價買入
電話又ハガキ御一報次第參上
京城鍾路二ノ二七
[illegible]商店

店員募集
年齡十五歳以上ノ内地人二名採用希望者ハ履歴書携帶至急來談アレ
南大門通一丁目二五番地
三國商會（電話九〇〇番）

乳母急入用
三十歳前後にして身體強壯なるもの希望者本人來談あれ
仁川山手町　鈴木俊本宅

鍛工至急入用
京城岡崎町十六番地
宮本蹄鐵製作所

花瓶大勉强
花色擬取株拾五錢以上ル增及鉢植時間生花並ニ活花用として御約
新龍山彩[illegible]園（鐵道公園東側）

記者及社員募集
志望者ハ履歴書携帶來社アレ
京城太平通二ノ一二一
自由評論社

◎外勤監督書記採用
希望者ハ履歴書持參セラレタシ
京城黄金町若草通電話二八五九
太陽生命保險株式會社支部

最新刊
書名　著者　定價　送料
千葉晩香著（春夏の卷秋冬の卷）家庭園藝　定價各一圓九十五錢
古寺巡禮　和辻哲郎　二、〇〇
逸話の泉（十二）島　一、六〇
テモクラシーと帝國の前途　一、五〇
新らしい文章の作り方　七〇
現代の婦人問題　本間　一、五〇
安原禮助著　神社と宗教　定價二圓
晩近社會思想の研究　二、三〇
英國經濟上の大問題　二、〇〇
最近心理學の進歩　二、〇〇
高等學校受驗我等　一、〇〇
六十三大家生活法　一、五〇
小須藤鐘一著　傷める花片　定價一圓十錢
鮮語國語大辭典　船岡四[illegible]
京城本町一丁目　大阪屋號書店

時計　貴金屬　製作　販賣　[illegible]商店

大阪市　有田ドラッグ　百圓進呈　りん病　ばい毒

歐米醫科大學病院　有田ドラッグ
分析料百圓進呈
にせ物あり
京城南大門外停車場通　有田ドラッグ（電話二八三番）
京城黄金町　有田ドラッグ
龍山　金山　元山　平壤　仁川　大連　グッラドー有田支店
◎朝鮮のにせ物
京城龍山仁川等各地ににせドラッグあり御注意を
請ふ全國の都市に支店あり
有田ドラッグ

みだれ咲き

第五十一回 島山碧波作 森田久畫

庭番次郎吉が醉餘の狂態は、彼れを和溫しき好々爺とのみ信じて居た操子に大なる驚愕を與へた。今の今まで自分のために邸を出てまで厚意を寄せて與れる老人と信じて居たのに聽くに堪へぬ惡口雜言を吐いて其處へ大胡座を搔いたには、流石の操子も恐怖の念に驅はれブル〳〵顫へ出した。

『おい〳〵次郎吉さん、幾ら醉つたとは云へ餘り亂暴では無いか、御主人樣の前と云ふことを考へ無くては不可んよ』

斯う云はれると、再び醉眼を睜つた次郎吉は。

『おい林造、こう忠義振つた事を吐かすない』斯う見ねても次郎吉はお孃樣や若樣の爲に牧野二人で山中家を背負つて立つ量見なんだ今奧樣にお目に掛つてお孃樣をお手渡しするまでは誰れが何と云つても承知しねのだぞ』

彼れは依然として大きな聲で呶鳴つて居るが、其の口によるところは醉つて居るためか少しも理由が判らないのである。

『お孃樣、決して御心配はございません、醉は無い時は猫のやうな男なんですが、酒が廻ると此の通りの始末なんです』

春花園の主人は、驚く操子に對して頻りに慰藉の言葉を掛けて居る。

『私は構ひませんが、皆さんに對して申譯がございません』

先刻から次郎吉の醜態を眺めてニヤ〳〵笑つて居た此の家の主人源助は。

『おい林造さん、次郎吉さんは階下へ連れて行つて少し休ませたら宜いだらう』

と、促された春花園の主人林造は、一寸舌打ちをして起ち上り。

『本當に貴方が無い爺さんだな、俺の處だから構は無いが、餘所で斯んな眞似をして見ろ、牧野さんがどの位迷惑するか知れないぜ、少しは其處いらを考へたら宜からうに酒を見ると直に是れだから困つてしまふ』

春花園の主人は女房のお咲に何か目配せして起ち上つた、するとお咲は默して首肯た。

『本當に仕樣が無いんだ』

女房のお咲も共に起ち上つて其處へ醉ひ伏さうとする次郎吉老人を抱き起した。

『奧樣、確とお孃樣をお引渡し申しました、私は是れて自分の役は濟みましたが、まだ牧野に逢つて後の相談を致さんければなりませんのだ』

彼れは飽くまでも醉態を裝つて居るのか、夫れとも事實是れほど醉つて居るのか知れぬが、足許さへも危な氣に起ち上ると、春花園の夫妻に連れられて階下へ降りて行つた。

『誠に失禮を致しました』顏より火が出るやうな思ひをして居る操子は、此の家の主人に向つて次郎吉の失態を詫びた後。

『まだ御挨拶も致しませんが、私は操子と申す者でございます、此の度は不思議な御緣で飛んだ御厄介になりますが、どうぞ此の後ともよろしくお願ひ申します』

花の家の主人は操子から丁寧な挨拶をされると、俄に居ずまゐを直して。

『御丁寧な御挨拶で恐れ入ります、弟の家とは丸で一つ家のやうにして往き來をして居るのですから少しも御遠慮なく遊んで居らつしやいまし』

主人の源助は至つて氣輕な好人物のやうであつた、此時下の座敷では今まで醉つて居た次郎吉老人が宛ら別人のやうな態度で。

『あゝやつて度膽を拔いて置かないと後の芝居が演憎いのだ』

と云つてニヤリと笑ひ。

『處で代物は見る通りの上物だが此のレコは幾らまで出すね』

片頰に凄い笑み、次郎吉は親指を出して春花園の夫妻に返辭を求めた。

女事務員募集

但し簿記心得を有し相當能筆なる者 自筆履歷書送附あれ

京城長谷川町七四 近澤洋紙店

我等の俳句

○ 浮碧樓
單衣の夜が冷たく吾家への足音の低き

○ 眞敏
女給仕の單衣よ誰も彼女の名を言はず
單衣の勞働の畔夜の見せ物
通夜の若者默して居れば時鳥叫ぶ

○ 紅二六
男ある夜の蚊帳を恐れ心
若者よ恐かなこゝを考へ時鳥の夜だ

○ 金鵄城
酒場のペンキの皆が單衣で來る頃だ

○ 鳥堂
手早く單衣著になつた日からの單衣
壁の單衣の俺の醜さが垂る
（十五日十の日會、六、九日）

新刊紹介

▲宗教生活と社會問題（姉崎正治著）本書は姉崎博士が帝國學士院に於て三日間に亘り講演せる所を速記したるもの第一講 問題の所在及び宗教信仰の要素、第二講 現代社會問題の歸著、第三講 人生の社會的結合に對する宗教の力等に分つ、權威ある批判と透徹せる觀察とは思想問題の喧しき今日必讀すべき好著と云ふべし（定價一圓十錢發行所東京市神田區表猿樂町通り大學館）

▲女の世界（七月號）例により異色ある記事を收めたり、主なるは男女對辯論（デンスモーア）南初い夢女內閣（紅蓮洞）歌劇女優の花形（小ぐら生）戀と罪と女（高橋桂二）戀に破れし女教師の惱亂（小川千代子）誘惑性の娘（香川澄江）等（廿錢東京市麴町有樂町一の四實業之世界社）

▲新公論（六月號）米國の矛盾せる批判は各方面の意見を蒐めたるもの時節柄讀者の興趣を換起すべく世界時局の眞相（建部博士）對獨講和條件其他に就て（早川鐵治）平等主義の哲理（島中雄三）等の諸論及び近世自殺家列傳、雨の夜閑話、パン[illegible]の諸論は本號の中心讀物と云ふべく創作には野へ（白石實三）獄人の話（生田葵）の二篇を收めたり（廿錢東京市京橋區加賀町一八新公論社）

▲中外新論（六月號）小松主筆の興的外交と蘇峰主義、我は親善彼は排日の一篇は何れも經世憂國の文字にして其持論なる讀者の態度は讀者に多大の影響を與ふべく其他に我國勞働問題を論ずる者に質す（河井博士）國民生活の改善と民本主義（稻毛詛風）鷄の嗚咨（戰常）米國藝苑所見（小島烏水）浮沈傳、妓柳氏（村松梢風）羽衣心中（澤田撫松）佛の冥加（須藤鐘一）時は過ぎ行く（澁谷美代子）等なり（卅五錢東京市芝區愛宕下町二の二中外新論社）

▲民本評論（一の二）菊池謙讓氏の主宰する雜誌にして半島より大陸（社論）民本的植民地政策の高調（醉鄕學人）內頭山及び其周圍（村田懋麿）朝鮮關係の新舊人物（長風生）朝鮮の妄動問題（諸名氏の意見）滿州雜記（對星樓主人）貫徹する迄主張せよ（大隈侯）鴨綠江と豆滿江（黑潮生）丸都城の回復（劍城）改造問題と我國（波邊天倪子）其他朝鮮を中心とせる有益なる論議研究等記事豐富なり（三十錢發行所東京小石川雜司ヶ谷一二九民本社）

▲大陸之工商（五の六）住宅缺乏問題（國枝白念）新鮮事業資金吸收策（岩本善文）郵便局から見た京城（服部京城郵便局長）食糧問題と在滿鮮人の前途（松原榮）廿草（村田康太郎）慘殺されたる鐵業家の果敢ない戀の戀（吉田不知火）哈爾賓印象記其他鮮滿の工業に關する有益多趣味の記事豐富なり（三十錢京城旭町一の七一社）

讀者の領分

▲近頃衞生衞生などゝ喧しく云はれますが當局者はそれを知らないのでせうか和泉町一丁目の裏町に麵の製造所がありて通行人は袖を振つゝ通行するに衞生掛は何と氣付かざるか又は何か事情ありて其儘に捨置かるゝか其意を得ず早く處分ありたし（一市民人）▲テエー君へ不肖の住所は次の如くですから一寸御來遊下さいませ其節は前以て御一報を願ひます（本町三ノ八九 佐々木徹臣生）▲日本の獨逸に對して要求した賠償金額一千五百億圓と十五億圓との二樣の新聞記事を見ますが此の金額中の萬の字は誤植でせうか其の何れ丈の必要の有無の存するに對して何れ丈の必要の有無の有するものであるでせうか數學專門家の委敷御高示を希望する（無學生）▲涉砂ケ[illegible]として素砂へ出張し其の時當年逆香隔れば[illegible]在所へも出張せりと出張所は[illegible]鑑力を願ひ度し成歡驛前鶴田今村んでせうか御存じの方は[illegible]（お詫れ生）▲黃金町通りの砂塵の害毒に付き公德生君の御忠言はへください▲京城で菰の紐を編む處はありませんでせうか▲時節柄御尤もの事なり官民共に此際に附すべからざる市民保健上の大問題なり電車通りの住民中呼吸器病及び眼病患者、最もさきは何に起因するや其の御注意を煩はすや切ない申譯的の撒水は何等の効もなし況んや御袋水道水今日市民各自の撒水の方策なきに於ておやずれて其筋の御注意を希ふの反省を求む（黃金町住民）▲晉州夕刊に連載されたる『肺結核患者と醫師問題』の記事は實に吾々同病者の痛恨を代表したるものにて近來醫道の墮落は慨嘆に耐へざる行爲を度々見聞するのでありますが京城の[illegible]師諸公宜敷警醒の爲め[illegible]として三省せられん事を希望す（肺患人）

牛乳

御用 衞生的 新鮮な 牛乳 病院 ホテル 京城東四軒町 岡野牧場 電話一六〇九番

男女ひみつ病

專賣特許 名譽金牌

生殖器諸病、短小、萎弱、りん病、包皮等は特許國產療法器で自宅で手輕に治る 說明書進呈す

東京京橋本材木町 函館春日町 別府楠町 淺草田原町二ノ洲 京城大和町 本天富士町 京都市魚棚 大阪北濱町 新療法研究所

ラヂウム入

カタノコリ神經痛リウマチス其他諸病に効有 痛所に [illegible] 五十錢 廿錢 東京日本橋區 東京製藥所 全國到る所の藥店にあり

神經衰弱 生殖器病患者に急告

恐るべき手淫の害毒の爲に人生最大の幸福を失ひ發育不完全、早漏、夢精、陰萎、ヒステリー等に苦しむ方は至急本院に申込まるれば生殖器病專門陽春堂病院長が多年苦心研究の結果發見せられたる專門藥ノイラの說明書郵送す

ノイラの神祕的なる藥効は既に社會一般の知る處なり前述の容體にて苦惱せらるゝ方は至急本劑を服用して再生を期せらる詳細は說明書にあり

◎藥價 十四日分三圓五十錢 一ケ月分七圓 二ケ月十三圓 三ケ月分十九圓 送料卅五錢

東京神田三崎町二丁目一番地 電話本局一六四六番 二一三九番

陽春堂藥院

外科 內科 皮膚科

京城旭町一丁目 電話二七三六番

院長正六位勳四等 島崎龍一 入院室設備完全

島崎病院

美人は名畫なり

その繪具は――

ノリノビが善く ムラが出來ない 天性の美しさを見せる

ホーカー白粉

化粧崩れの憂なく初夏の日ヤケを防ぐ

新發見 白さの[illegible]

ホーカー白粉は日本婦人の肌に適する操作つてありますから誰人の肌にもシツクリ合ひ濃くも淡くも思ひの儘に出來ます

―效果―

□白さが美しい □ノリノビ良く □化粧崩れせず □變色の憂なし
□日ヤケを防ぐ □香が奧床しい □鉛分を含まず □肌を保護する

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液

本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店

電話神田 特長 一四三 一四四四 一五五六 振替口座東京

全國到る處の小間物化粧品洋品店等に販賣す若品切の節は本舖へ直接振替か切手にて御注文あれ 定價一瓶廿五錢 內地六錢滿鮮四十錢

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

模範强壯料

最近科學的研究を經て卓効を認められたる人參を特殊の操作に依り芳醇無比の葡萄酒に配合したる

◎ミツワ人參葡萄酒

定價一壜金壹圓八拾錢（內地以外は關稅運賃を加ふ）

風味高潔淸和滋養豐富 元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、效力卓絕なる人參を、調密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芬芬にして濃爽、其の味は濃醇にして爽快、能く何人の嗜好にも適應し、元氣を增進せしめ、榮養の佳良ならしめ、身體の强壯を齎し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、高健者に新活力を賦與するに於いて他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飮用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の淸凉飮料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增したい人
一、身體を强壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を願ふ人
一、病苦や不快な感覺を忘れたい人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、食物を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、榮養を良くしたい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、生來虛弱な人
一、身體の衰弱けて居る人
一、貧血して居る人
一、顏の色艶め氣の無い人
一、手足が冷えて寢つかれぬ人
一、些細の事まで氣にかける人
一、悲しい事も無いに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神鬱々する人
一、時々氣が[illegible]人
一、肺結核や腸結核の病後[illegible]
一、神經衰弱に罹つて居る人

東京市日本橋區室町四丁目 振替東京七一〇番 丸見屋商店 電話本局特長 四四四 一三五〇 四九 八〇〇〇

英米直輸入

品質堅牢無比

帶鋸 金剛車 附屬販賣 廉價 鋸 接 改造 スキ直 和洋前挽 積切 鑢 製造元

廣島市相生橋西詰 廣山商店 大阪振替口座三〇一五番

阿波 共同汽船出帆

芝罘大連行 第十二共同丸 六月 日午後入港 日正午出帆
青島直行 第十一共同丸 六月 日午前入港 日午前出帆
秦皇島行 第六共同丸 六月 日午後入港 日正午出帆
大連にて [illegible]

仁川代理店 [illegible] 電話二四四七番
元山代理店 [illegible] 電話二七六〇番

尼崎汽船出帆

阪神山木浦下ノ關大阪行
△赤城丸 六月 日後四
△一心丸 六月 日後四
△神代丸 六月 日後四
△秀吉丸 六月 日後四
△君が代丸 六月 日後四
○大有丸 日後四
○第一運輸丸
○印船客御斷 △印二等船客なし

仁川海岸通二丁目 電話五九番